

令和8年
岩手県教育委員会定例会
8 月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和8年8月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和8年8月24日（月）午後1時30分

第 1 会期決定の件

第 2 議案第 22 号 県立高等学校の学科の設置及び廃止に関し議決を求めることについて (学 校 教 育 室)

第 3 議案第 23 号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて (教 育 企 画 室)

第 4 議案第 24 号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (服 務 管 理 監)

第 5 議案第 25 号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて (服 務 管 理 監)

閉会

議案第22号

県立高等学校の学科の設置及び廃止に関し議決を求めることについて
次のとおり県立高等学校の学科の設置及び廃止をすることについて、議決を求める。

1 県立高等学校の学科の設置

名 称	区 分	課程等	学 科	位 置
岩手県立黒沢尻工業高等学校		全日制	半導体工学科	北上市

2 県立高等学校の学科の廃止

名 称	区 分	課程等	学 科	位 置
岩手県立南昌みらい高等学校		全日制	体育科	紫波郡矢巾町
岩手県立久慈翔北高等学校		全日制 全日制	電子機械科 建設環境科	久慈市及び九戸郡野田村

3 設置及び廃止の時期

令和9年4月1日

令和8年8月24日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

県立高等学校の学科の設置及び廃止をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和 9 年 度

県立学校の編制について

岩 手 県 教 育 委 員 会

I 久慈高校と大野高校の統合形態等について

久慈高校と大野高校の統合形態等については、次の表のとおりである。

項目	形態	説明・理由
統合形態	年次統合	- 令和9年度及び10年度の2年間は、大野高校の現在校生はそのまま大野高校に在学し、大野高校の生徒として卒業する。 - 令和11年3月31日（令和10年度末）をもって大野高校を閉校し、久慈高校と統合する。 ＜理由＞ - 統合検討会議における意見を踏まえたものであること。また、過去の類似した統合事例（花巻北・東和等）においても年次統合の形態で実施したため。
校名・校歌・校章・制服等	久慈高校を継承	- 大野高校が久慈高校の分校であった系譜を基に、統合後の校名等は、現行の「久慈高校」のものを継承する。 ＜理由＞ - 統合検討会議における意見を踏まえたものであること。また、過去の類似した統合事例（花巻北・東和等）においても、校名変更等はなかったため。

Ⅱ 令和９年度 県立高等学校の編制について

１ 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和９年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区 分			募集学級数			募集定員		
			8 年度	9 年度	差	8 年度	9 年度	差
県立高等学校	全 日 制	普 通 科・理 数 科	118	115	▲ 3	4,720	4,600	▲120
		職業に関する学科	68	66	▲ 2	2,720	2,640	▲80
		総 合 学 科	23	23	0	920	920	0
		小 計	209	204	▲ 5	8,360	8,160	▲200
	定 時 制	普 通 科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小 計	14	14	0	560	560	0
合 計			223	218	▲ 5	8,920	8,720	▲200

2 地区別募集学級数増減

令和9年度の地区別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

地区	募集学級数 R8→R9	令和9年度募集学級数		学 校 名	令和8年度募集学科 及び募集学級数	令和9年度募集学科 及び募集学級数	令和9年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学 科	増	減
盛岡	70→69	64	5	平 館	普 通 1 家政科学 1	普 通 1	家政科学		▲ 1
中部	42→41	41	0	遠 野 緑 峰	生産技術 1 情報処理 1	生産技術 1	情報処理		▲ 1
				黒沢尻工業	機 械 1 電 気 1 電 子 1 電子機械 1	機 械 1 電 気 1 電 子 1 電子機械 1 半導体工学 1 土 木 1	半導体工学	1	
					土 木 1 材料技術 1		材料技術		▲ 1
					普 通 3 生産技術 1 産業技術 1	普 通 2 生産技術 1 産業技術 1	普 通		▲ 1
県南	44→43	40	3	千 厩	普 通 3 生産技術 1 産業技術 1	普 通 2 生産技術 1 産業技術 1	普 通		▲ 1
沿岸南部	24→24	22	2	(該当なし)					
宮古	17→16	15	1	宮 古 (全日制)	普 通 5	普 通 4	普 通		▲ 1
県北	26→25	22	3	大 野	普 通 1		普 通		▲ 1
合計	223→218	204	14				普通 普通・理数 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	1	▲ 3 ▲ 1 ▲ 1 ▲ 1
							計	1	▲ 6

3 学科改編（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和9年度の学科改編の状況は、次のとおりである。

地区 (位置)	学 校 名 (課程)	8 年 度 募 集 学 科 及 び 募 集 学 級 数	9 年 度 募 集 学 科 及 び 募 集 学 級 数	理 由
中部 (北上市)	黒沢尻工業 (全日制)	機 械 1 電 気 1 電 子 1 電子機械 1 土 木 1 材料技術 1	機 械 1 電 気 1 電 子 1 電子機械 1 半導体工学 1 土 木 1	地域振興の方向性や産業構造、中学生の志望動向、高校卒業後の進路状況等を見据え、学科改編を行うものである。 新たに新設する半導体工学科は、学校設定科目「半導体工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「半導体制御技術」を設置し、半導体の構造や製造技術、電子回路、デバイス関係について、専門性の高い知識・技術を身に付けられる学習内容とする。

4 学校再編

令和9年度の再編を計画した県立高等学校はない。

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和7年度から募集を停止しており、令和8年度をもって令和6年度入学生が卒業する学科について、令和9年度に廃止しようとするものである。

地区 (位置)	学 校 名 (課程)	設置学科（学級数）			
		R 6	R 7	R 8	R 9
盛岡 (矢巾町)	南昌みらい (全日制)	[旧・盛岡南高校] 体 育 (3)	体 育 (2)	体 育 (1)	
県北 (野田村)	久慈翔北 (全日制)	[旧・久慈工業高校] 電子機械 (3) 建設環境 (3)	電子機械 (2) 工 業 (1) 建設環境 (2)	電子機械 (1) 工 業 (2) 建設環境 (1)	工 業 (3)

Ⅲ 令和9年度 県立特別支援学校の編制について

令和9年度に、県立特別支援学校の課程及び学科の廃止はない。

議案第 23 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて

教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果に関する報告書を別添のとおりとすることについて、議決を求める。

令和 8 年 8 月 24 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和 7 年度
教育委員会事務点検評価報告書
(主要施策の成果に関する説明書)

令和 8 年 8 月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2023年度～2028年度）の 取組と成果-----	議23－7
I 「健康・余暇」分野-----	議23－17
II 「家族・子育て」分野-----	議23－19
III 「教育」分野-----	議23－21
VII 「歴史・文化」分野-----	議23－24
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります-----	議23－25
政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります-----	議23－28
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して 子どもの育ちと学びを支えます-----	議23－30
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります-----	議23－32
政策項目No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます-----	議23－34
政策項目No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます-----	議23－37
政策項目No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます-----	議23－40
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます-----	議23－42

政策項目No.15	いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを 尊重する学校をつくれます-----	議23-44
政策項目No.16	児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や 教職員の資質の向上を進めます-----	議23-47
政策項目No.18	地域に貢献する人材を育てます-----	議23-50
政策項目No.31	ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、 一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくれます-----	議23-53
政策項目No.40	世界遺産の保存と活用を進めます-----	議23-55
政策項目No.41	豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境を つくり、交流を広げます-----	議23-56
参考資料 1	令和7年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表-----	議23-57
2	いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン 事務事業一覧表-----	議23-63

いわて県民計画（2019～2028）

政策推進プラン（令和5年度～令和8年度）の 取組と成果

岩手県では、平成31年（2019年）3月に、今後10年間を計画期間とする新しい総合計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、令和5年3月にこの計画の第2期アクションプランとして、2023年度から2026年度までの4年間を対象とした「政策推進プラン」を策定しました。

「政策推進プラン」では、各政策分野における幸福に関連する客観的な指標（いわて幸福関連指標）のほか、政策項目ごとに、取組の「基本方向」、「県が取り組む具体的な推進方策」、「県以外の主体に期待される行動」を示しています。

この報告書は、「いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プラン」で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和7年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画（2019～2028）第2期政策推進プランのうち、教育委員会が所管する政策分野（Ⅲ教育）及び政策項目（政策項目№5、7、11～16、18）（ただし、他部局関係部分を除く。）並びに他部局が所管する政策分野及び政策項目のうち、教育委員会関係部分について掲載しています。
- ・ いわて幸福関連指標と具体的推進方策指標の令和7年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	目標達成率	■達成度 令和7年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■目標達成率の計算式 ①通常の指標（現状値から数値を上げる目標） $\frac{(R7 \text{ 実績値} - R3 \text{ 現状値})}{(R7 \text{ 目標値} - R3 \text{ 現状値})} \times 100$ ②維持指標等（現状値を維持する目標等） $(R7 \text{ 実績値}) / (R7 \text{ 目標値等}) \times 100$
達成（A）	100%以上	
概ね達成（B）	80%以上100%未満	
やや遅れ（C）	60%以上80%未満	
遅れ（D）	60%未満	

- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、令和7年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。

1 位置付け

- (1) 地方自治法第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書

2 内容

「いわて県民計画（2019～2028）」の政策推進プラン（2023年度～2026年度）（令和5年3月策定）を対象に、令和3年を基準年度（現状値）として、令和8年3月末時点の各指標の達成度を示すもの。（基準年度から見た年度目標に対する到達度）

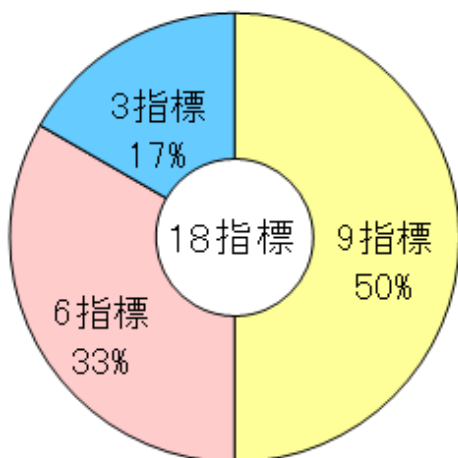
3 政策推進プランの令和7年度の達成状況

- (1) 10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標である「いわて幸福関連指標」18（18）*の「概ね達成」以上の割合は83%となりました。〔※指標数の（ ）内は、未測定指標を含む全指標数。（2）に同じ。〕
- (2) 県が主体となって具体に取り組む「具体的な推進方策」を示した85（87）の指標の「概ね達成」以上の割合は91%となりました。

グラフの見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

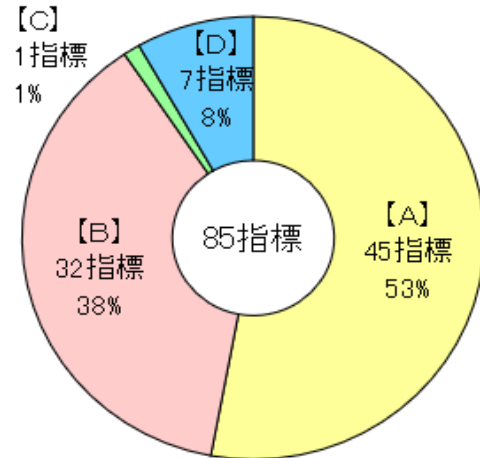
(1) 「いわて幸福関連指標」の達成状況

- ①「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 15指標(83%)
- ②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 3指標(17%)



(2) 「具体的な推進方策指標」の達成状況

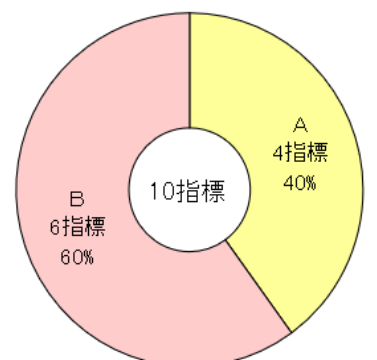
- ①「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 77指標(91%)
- ②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 8指標(9%)



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

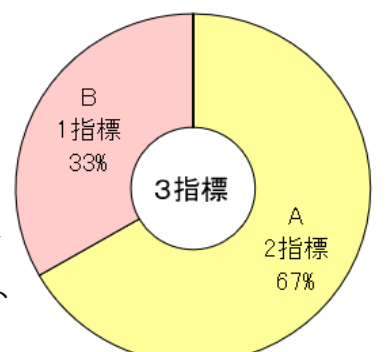
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

- ①具体的推進方策指標10指標は、達成度A、Bが10指標です。
- ②推進方策「多様な学びのニーズに応じた拠点の充実」では、県民一人ひとりが学びたい時に学べる環境を提供するため、博物館等の県立社会教育施設のハード面、ソフト面の充実などを進め、アウトリーチ型の学びの機会の提供に取り組み、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供しました。また、市町村が設置する公民館等の学びの拠点の充実のため、ニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流を積極的に進めました。



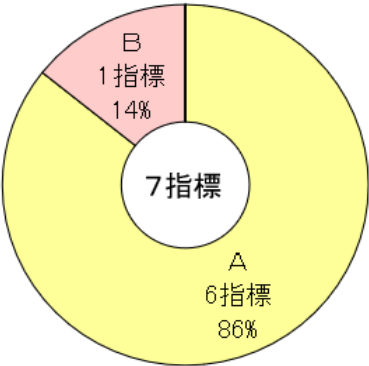
政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標3指標は、達成度A、Bが3指標です。
- ②推進方策「家庭教育を支える環境づくりの推進」では、「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、現代的課題の解決のためのネットワークの形成に取り組みました。



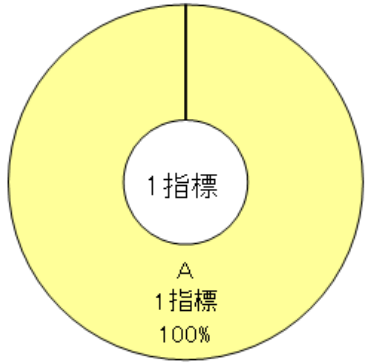
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

- ①具体的推進方策指標5指標は、達成度A、Bが7指標です。
- ②推進方策「県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進」では、地域ぐるみで特別支援教育を支援する体制を構築するため、授業の補助や学校生活の支援を行う特別支援教育サポーターの養成に取り組むとともに、県内各校で「岩手特別支援教育ボランティアバンク」の積極的な活用につながるよう、各種研修において活用事例の周知と広報資料配付によるPRに取り組みました。



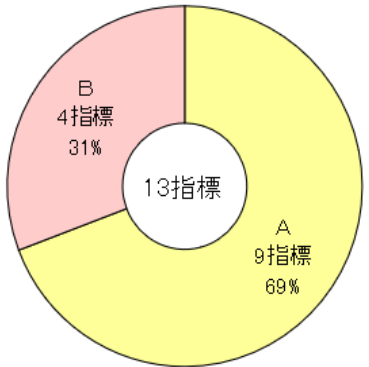
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Aが1指標です。
- ②推進方策「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進」では、「教育振興運動推進プラン(2024～2028)」に基づき、「体験活動の充実」を全県共通課題の1つとし、連携協定締結企業との連携体制の構築を図るとともに、放課後子供教室等による体験活動、社会教育施設等を活用した自然体験活動など、子供たちの体験活動の場の提供に取り組みました。



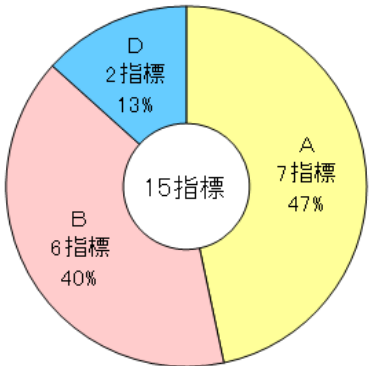
政策項目No.11【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

- ①具体的推進方策指標14指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bが13指標です。
- ②推進方策「児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実」では、授業改善の推進のため、諸調査の結果から学年や教科を超えた課題を洗い出し、全教職員で課題解決を図りました。また、各教科で解決すべき課題について、教科担当を中心に校種を超えた学習内容の系統性を踏まえた課題解決を図りました。さらに、家庭学習の充実のため、自身に適した学習習慣の確立に取り組んだほか、自主的・自発的な家庭学習については、学習内容や学習計画を含めた学び方を評価するとともに、取組方法の振り返りを行うなど質的な改善を図りました。



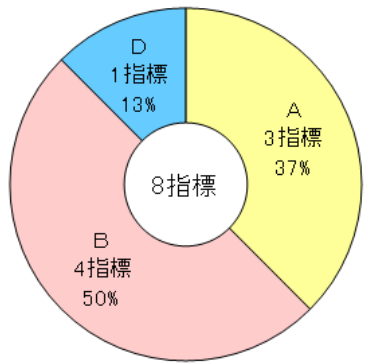
政策項目No.12【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

- ①具体的推進方策指標15指標は、達成度A、Bが13指標、達成度Dが2指標です。
- ②達成度Dの指標は、「様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合(小学生、中学生)」です。
 - 小中学校で実施している芸術鑑賞等により、中学校では昨年度を上回るなど一定の改善が見られたものの、各学校において学校行事の精選等の教育課程の見直しが進む中で、地域の郷土芸能団体や指導者の減少等の影響もあり、文化芸術や伝統活動に触れる機会が減少したためです。



政策項目No.13【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

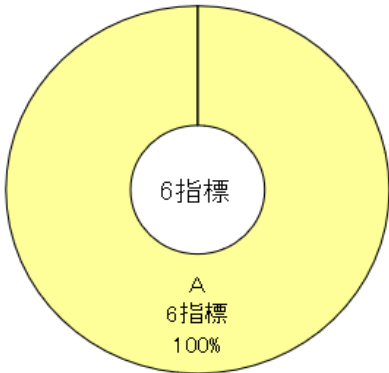
- ①具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bが7指標、達成度Dが1指標です。
- ②達成度Dの指標は、「朝食を毎日食べる児童生徒の割合(中学生)」です。
 - 60(ロクマル)プラスプロジェクトの推進により、望ましい食習慣の形成等に取り組みましたが、スクリーンタイムの増加等による生活習慣の変化や朝食摂取の重要性に対する理解不足、家庭における朝食習慣の影響等があったためです。



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況（つづき）

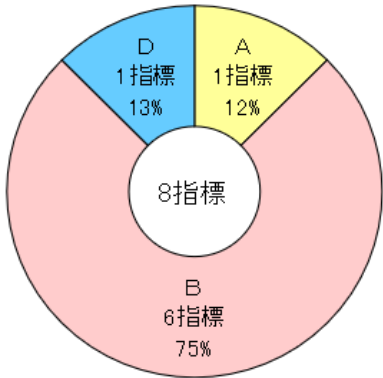
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

- ①具体的推進方策指標6指標は、達成度Aが6指標です。
- ②推進方策「各校種における指導・支援の充実」では、各種研修会において、特別支援学校の児童生徒と小・中・高等学校の児童生徒との交流及び共同学習の意義を伝えるとともに、児童生徒の相互理解が促進されるよう、居住地校での交流及び共同学習や、学校間交流を実施しました。また、小・中・高等学校における特別支援教育の指導の充実につながるよう、小・中・高等学校職員も参加できる特別支援学校の公開授業研究会や特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修会を実施しました。



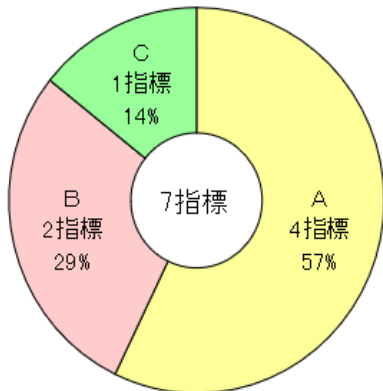
政策項目No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

- ①具体的推進方策指標9指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bが7指標、達成度Dが1指標です。
- ②達成度Dの指標は、「学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合（小学生）」です。
- 学校生活満足度を高めるため、いじめの未然防止、早期発見と適切な対処を組織的かつ実効的に進めるなど、魅力ある学校づくりに取り組みましたが、子どもの多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、学校生活に対する個々の満足度に差異がみられたためです。



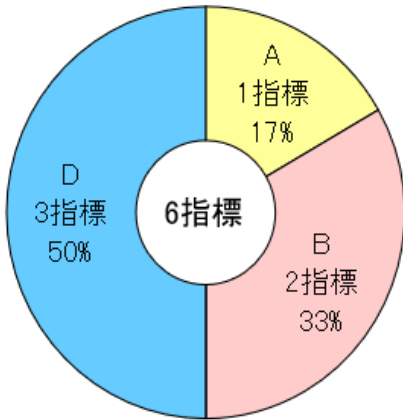
政策項目No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

- ①具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bが6指標、達成度Cが1指標です。
- ②達成度Cの指標は、「教育支援センターを設置している市町村数」です。
- 多様な学びの場を確保するため、教育支援センターの設置促進に向けた情報提供等に取り組みましたが、指導員等の人材の確保や設置場所、予算の確保などが困難であったためです。



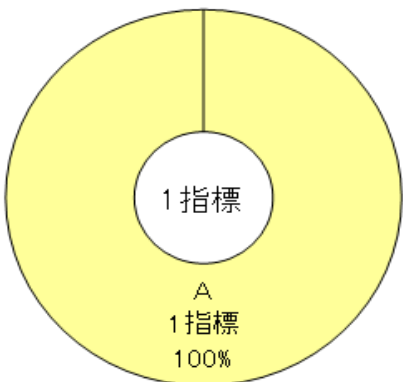
政策項目No.18 地域に貢献する人材を育てます

- ①具体的推進方策指標6指標は、達成度A、Bが3指標、達成度Dが3指標です。
- ②達成度Dの指標は、「自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合（小学生、中学生）」及び「中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合（高校生）」です。
- 郷土を愛し、復興・発展を支える「いわての復興教育」等を推進しましたが、少子化により、地域活動の継続が困難になっていることや、学校行事の精選等の教育課程の見直しが進む中で、地域の良さを実感する機会を十分に確保することができなかったためです。
 - 指導主事による個別訪問を通して教員の授業力向上に取り組みましたが、質の高い言語活動を実施するための授業改善や、指導と評価の一体化の充実を十分に図ることができなかったためです。



政策項目No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Aの指標が1指標です。
- ②推進方策「子育てと仕事の両立を図る家庭への支援」では、「教育振興運動推進プラン（2024～2028）」に基づき、「体験活動の充実」を全県共通課題の1つとし、連携協定締結企業との連携体制の構築を図るとともに、放課後子供教室等による体験活動、社会教育施設等を活用した自然体験活動など、子供たちの体験活動の場の提供に取り組みました。【再掲】

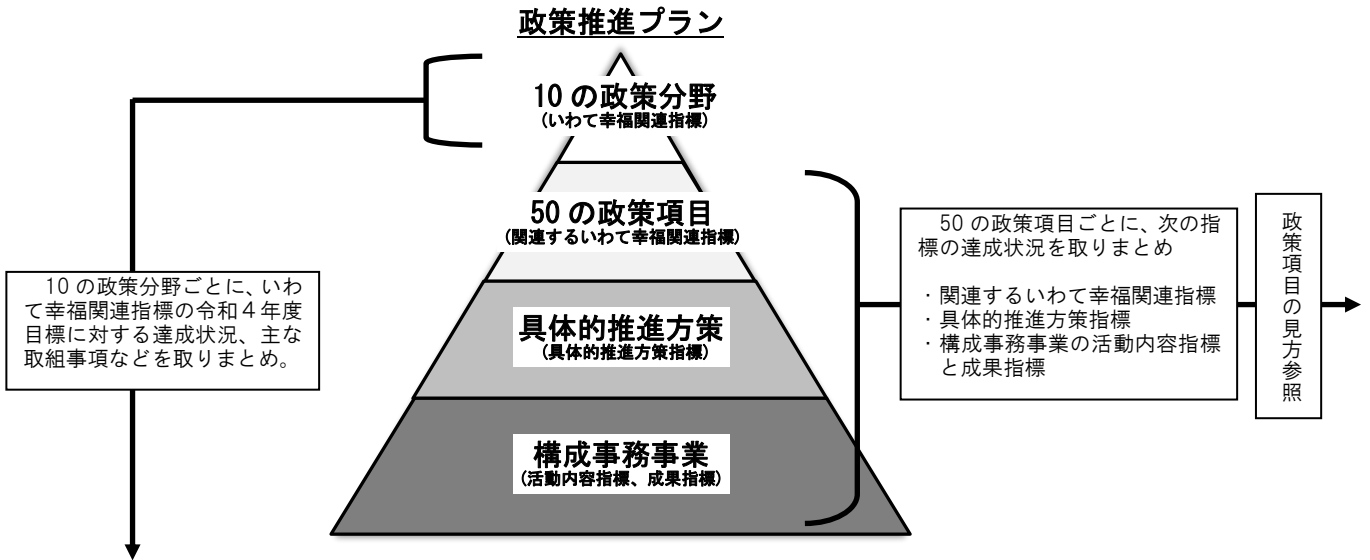


5 教育委員会所管の構成事業の状況

政策項目	活動内容指標（183指標）				成果指標（189指標）			
	A	B	C	D	A	B	C	D
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます	3				1	1	1	
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	19			4	13	10	1	
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります	9	1			20			
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	9				10			
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	3				3			
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	23	2	1		24			
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	10				8	5	1	1
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます	10	1			6	3	1	
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	8	2	1		8		2	
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	8	3			9			
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	24	1		1	21	5	2	1
18 地域に貢献する人材を育てます	25	2			21	4		1
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります	2				1	1		
27 自助、共助、公助による防災体制をつくります	1				1			
40 世界遺産の保存と活用を進めます	3					1		
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	3	2	1		1			
46 安全・安心を支える社会資本を整備します	1				1			
計	161	14	3	5	148	30	8	3
割合	88%	8%	1%	3%	78%	16%	4%	2%

本書の見方

本書では、いわて県民計画（2019～2028）長期ビジョンに示した 10 の政策分野と、それを構成する 50 の政策項目について、各種指標の達成状況や県の取組状況などの情報を掲載しています。



政策分野の見方

Ⅲ 教育									
学びや人づくりによって、 将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手									
いわて幸福関連指標の達成度									
【概要】 ○ いわて幸福関連指標 18 指標は、達成度A、Bの指標が 14 指標（87%）、達成度Dの指標が2指標（13%）でした。 ・ いわて幸福関連指標のうち、全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学校の女子が全国順位が上昇、小学校の男女、中学校の男子が下降しました。									
いわて幸福関連指標の状況									
指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位) R3 R7 比較		
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	84.3	A	-	-	-
20	%	中 85.4	85.4	85.4	81.3	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	86.6	A	-	-	-
22	%	中 83.5	83.5	83.5	86.6	A	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	63	B	-	-	-
24	%	中 67	68	68	62	B	-	-	-
25	%	高 62	70	68	64	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	79.0	85.3	A	-	-	-
27	%	中 76.2	79.0	79.0	85.2	A	-	-	-
28	% (体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合)	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10 位 (2 位)	16 位 (3 位)	下降 (下降)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	75.6	B	8 位 (2 位)	12 位 (4 位)	下降 (下降)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	75.6	A	5 位 (2 位)	7 位 (2 位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	85.4	B	7 位 (1 位)	6 位 (1 位)	上昇 (横ばい)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	97.3	A	-	-	-
33 高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持って	% (児童生徒の割合)	小 82.1	84.0	83.6	84.9	A	-	-	-
35		中 72.8	76.0	75.2	72.3	D	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	49.5	教育関連以外のものは非表示としています。				

○政策分野名
10 の政策分野名と政策分野の取組方向を記載

○いわて幸福関連指標の達成度
いわて幸福関連指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
○概要
いわて幸福関連指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
いわて幸福関連指標の目標値や令和 6 年度の実績値などを記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と R3 現状値との比較を記載

※黒塗り：教育委員会以外のものであることから非表示としています。

○10 の政策分野に対応するいわて幸福関連指標の状況
いわて幸福関連指標の指標名、目標値や令和7年度の目標に対する達成度などを記載
【達成度の計算式】
・通常の指標（R3 現状値から数値を上げる目標）
$$(R7 \text{実績値} - R3 \text{現状値}) / (R7 \text{目標値} - R3 \text{現状値}) \times 100$$

・マイナス指標（R3 現状値から数値を下げる目標）
$$(R3 \text{現状値} - R7 \text{実績値}) / (R3 \text{現状値} - R7 \text{目標値}) \times 100$$

・維持指標等（R3 現状値を維持する目標等）
$$(R7 \text{実績値}) / (R7 \text{目標値}) \times 100 \quad \text{又は} \quad (R7 \text{目標値}) / (R7 \text{実績値}) \times 100$$

※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
$$(R7 \text{実績値}) / (R7 \text{目標値}) \times 100$$

【特記事項】

- ・人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：教育課程全体を通じて道徳教育を推進した結果、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は98%と高い水準を示し、「そう思う」と回答した生徒の割合も前年度から増加したものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）：キャリア教育や進路指導の充実に取り組み、将来の夢や目標を持つことに「当てはまる」と回答した生徒の割合は全国平均を上回り前年度から増加したものの、変化が激しく先行き不透明な社会情勢の中で将来に不安を感じるなど、夢や目標を持っていない生徒が一定数いることなどから、伸び悩みました。

○特記事項

達成度がCまたはDとなった「いわて幸福関連指標」に係る取組状況について、指標データ等により説明

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
8		小 国語 50	46	-
9		小 算数 42	56	-
10	学力が全国水準未満の児童生徒の割合	中 国語 37	48	-
11		中 数学 57	63	-
12		小 8.4	-	-
13	不登校児童生徒数(千人当たり)	中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

○参考指標

いわて幸福関連指標を補完するために設定した参考指標の状況

主な取組事項

- これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
いわて幼児教育センターにおいて、研修・支援・研究の3つの機能を通して「就学前教育の質の向上」「幼児教育と小学校教育の円滑な接続」の推進に取り組みしました。
また、教育活動の質を向上させるため、県と市町村教育委員会が協議会を組織し、児童生徒1人1台端末の整備・更新やICTの活用の実践等の全県的な取組を進めました。
- 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
授業改善の推進のため、諸調査の結果から学年や教科を超えた課題を洗い出し、全教職員で課題解決を図りました。
また、各教科で解決すべき課題について、教科担当を中心に校種を超えた学習内容の系統性を踏まえた課題解決を図りました。
さらに、家庭学習の充実のため、自身に適した学習習慣の確立に取り組んだほか、自主的・自発的な家庭学習については、学習内容や学習計画を含めた学び方を評価するとともに、取組方法の振り返りを行うなど質的な改善を図りました。
- 自他の生命を大切に、人権を尊重する心の育成
多様な価値観を認め合う道徳性の涵養や人権意識の醸成に向け、教員育成指標に基づいた基本研修の内容の充実を図るとともに、各地域において研修会を開催したほか、「道徳教育啓発リーフレット」や「人権教育啓発リーフレット」を作成し、道徳科を要とした道徳教育及び自他の人権を尊重する人権教育の充実に取り組みしました。
- 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成
「教育振興運動推進プラン（2024～2028）」に基づき、全県共通課題として掲げた「体験活動の充実」が図られるよう、多様な体験活動の具体例をとりまとめた実践事例集を作成・公表しました。
- 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実
運動習慣、食習慣及び生活習慣の一体的な改善に向け「チャレンジカード^{※1}」の活用等による「60（ロクマル）プラスプロジェクト^{※2}」を推進したほか、「岩手県立学校熱中症対策ガイドライン（令和6年5月策定）」や「学校におけるアレルギー疾患対応指針（令和7年3月改訂）」などに基づき、児童生徒等の命や健康を守る体制整備等に取り組みしました。
- 適切な部活動体制の推進
適切な休業日の設定、体罰や暴言のない適切な指導、部活動指導員等の外部人材の活用を行い、部活動運営の適正化に取り組みしました。
また、中学生や保護者等を対象とした事例発表やワークショップ等を行い、学校部活動の段階的な地域クラブへの展開に向けた情報発信に取り組みしました。
- 各校種における指導・支援の充実
各種研修会において、特別支援学校の児童生徒と小・中・高等学校の児童生徒との交流及び共同学習の意義を伝えるとともに、児童生徒の相互理解が促進されるよう、居住地校での交流及び共同学習や、学校間交流を実施しました。
また、小・中・高等学校における特別支援教育の指導の充実につながるよう、小・中・高等学校職員も参加できる特別支援学校の公開授業研究会や特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修会を実施しました。

○主な取組事項

10 の政策分野ごとに取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

政策項目の見方

Ⅲ 教育

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

《基本方向》

児童生徒一人ひとりが、自他の生命（いのち）を大切にし、人権を尊重する心や良好な人間関係を構築できる協働性を育むため、多様な価値観を認め合う機会や教育振興運動と連携した他者との協働活動等の充実により、これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化即活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 5 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（80%）、達成度 D の指標が 1 指標（20%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	63	B	-	-	-
24		中 67	68	68	62	B	-	-	-
25		高 62	70	68	64	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	79.0	85.3	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	79.0	85.2	A	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：教育課程全体を通じて道徳教育を推進した結果、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は 98%と高い水準を示し、「そう思う」と回答した生徒の割合も前年度から増加したものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度



説明

具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

○政策分野名
10 の政策分野名を記載

○政策項目名
50 の政策項目名を記載

○政策項目の基本方向
政策項目に関して取り組む基本方向を記載

○概要
政策項目に関連するいわて幸福関連指標及び具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
政策項目に関連するいわて幸福関連指標の目標値や令和 6 年度の実績値などを記載

○全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と R3 現状値との比較を記載

○特記事項
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○参考指標
参考指標の状況を記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○説明
具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

○具体的推進方策指標の達成度

政策項目ごとの具体的推進方策指標の達成度の構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

- ・ 通常の指標（R3 現状値等から数値を上げる目標）
 $(R7 \text{ 実績値} - R3 \text{ 現状値}) / (R7 \text{ 目標値} - R3 \text{ 現状値}) \times 100$
 - ・ マイナス指標（R3 現状値等から数値を下げる目標）
 $(R3 \text{ 現状値} - R7 \text{ 実績値}) / (R3 \text{ 現状値} - R7 \text{ 目標値}) \times 100$
 - ・ 維持指標（R3 現状値等を維持する目標）
 $(R7 \text{ 実績値}) / (R7 \text{ 目標値}) \times 100$ 又は $(R7 \text{ 目標値}) / (R7 \text{ 実績値}) \times 100$
- ※ 累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
 $(R7 \text{ 実績値}) / (R7 \text{ 目標値}) \times 100$

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
139	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 69	75	74	71	D
140			中 65	72	71	67	D
141			高 68	86	82	82	A

【特記事項】

- 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合（小学生、中学生）：小中学校で実施している芸術鑑賞会等により、中学校では昨年度を上回るなど一定の改善が見られたものの、各学校において郷土芸能活動等を含む学校行事等の見直しが進む中で、地域の郷土芸能団体や指導者の減少等の影響もあり、文化芸術や伝統活動に触れる機会が減少したことなどから、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	予算額	決算額	投入コスト(百万円)				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
			決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
							(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)

○具体的推進方策名
「政策項目の基本方向」の実現に向け、県が主体となって取り組む具体的な推進方策名を記載

○具体的推進方策指標の状況
具体的推進方策指標の目標値や令和3年度の値などを記載

○特記事項
具体的な推進方策の取組状況について、指標データ等により説明

○推進方策を構成する事業の状況
具体的な推進方策を構成する事務事業の数、県が実施した具体的な推進方策に係る投入コスト（R7 実績）、活動内容指標及び成果指標の達成度について掲載

- ・事業数
推進方策を構成する事業数を記載
- ・予算額
7年度最終予算額を記載
- ・決算額
7年度決算額を記載（財源内訳も記載）
- ・活動内容指標
事業の活動内容を示す指標
達成度＝実績値/計画値×100
- ・成果指標
事業の成果を示す指標
達成度＝実績値/目標値×100

※投入コストは、端数四捨五入の計算のため、事業数又は財源の内訳は、合計と一致しない場合があります。

※達成度の構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

※個別事業の詳細は巻末一覧表に掲載

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は8位、満足度は22位となり、ニーズ度は13位となっています。

○その他
指標以外の動向について、県民意識調査結果及び政策項目の基本方向に対する特徴的な動きなど、当該政策項目を取り巻く状況について記載

参考 1：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「－」と表示しています。

※ 具体的推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標はR3 現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標はR 7 の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考 2：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

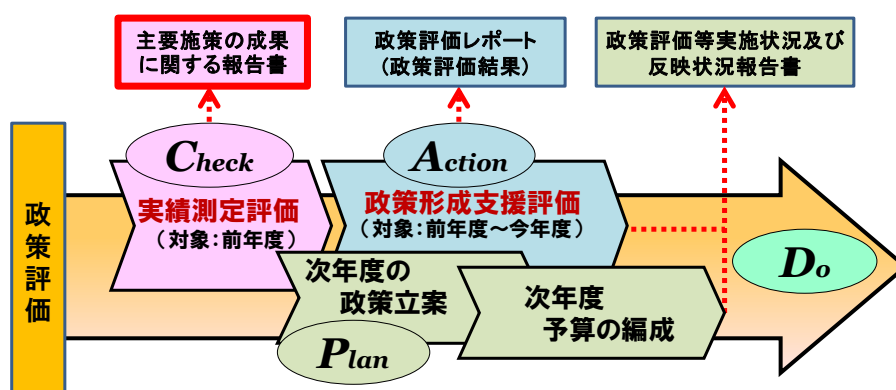
「▼」：R 3 現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）

「◆」：R 3 現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）

（記号を付していないものは、主にR 3 現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す。）

参考 3：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回の指標達成状況と併せ、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

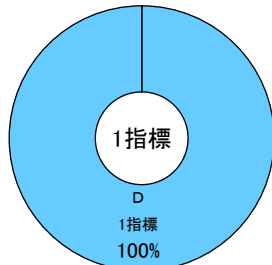


健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、

また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Dの指標が1指標（100%）でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R6	比較
1	健康寿命〔平均自立期間〕	年	男性 ② 80.03	⑦ 81.00	⑤ 80.80	教育関連以外のものは非表示としています。				
2			女性 ② 84.59	⑦ 85.41	⑤ 85.24					
3	がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数〔10万人当たり〕	人	男性 ② 283.4	⑦ 245.8	⑤ 252.6					
4			女性 ② 154.5	⑦ 120.9	⑤ 124.5					
5	自殺者数〔10万人当たり〕	人	16.2	14.6	14.7					
6	75歳以上85歳未満高齢者の要介護認定率	%	12.3	11.3	11.5					
7	訪問診療(歯科含む)・看護を受けた患者数〔10万人当たり〕	人	② 6,508	⑦ 7,210	⑤ 7,064					
8	余暇時間〔一日当たり〕※1	分	372	382	382					
9	県内の公立文化施設における催事数※2	件	—	1,471	1,388					
10	スポーツ実施率	%	② 65.4	⑦ 70.0	⑤ 69.1					
11	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	50.0	49.0	45.2	D	—	—	—

※1 休日を含む1週間の平均

※2 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な14施設の催事数

【特記事項】

- ・ 生涯学習に取り組んでいる人の割合：コロナ禍に比べ回復傾向にあるものの、多様な情報メディア等の普及等により、生涯学習への新たな参加が十分に広がらず、伸び悩みました。

【参考指標】

調査項目		単位	現状値 (R3)	R7	備考
1	健康寿命〔日常生活に制限のない期間〕	年	男性 ① 71.39	教育関連以外のものは非表示としています。	3年ごとの公表
2			女性 ① 74.69		3年ごとの公表
3	喫煙率	%	① 20.9		3年ごとの公表

主な取組事項

■ 多様な学習機会の充実

県立生涯学習推進センターを活用し、生涯学習や地域づくりに関する多様な研修や交流機会を提供するとともに、対面型に加えてオンライン型の研修方式にも取り組み、より参加しやすい学習環境の整備を進めました。また、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の情報更新や研修講座の特設ページの拡充により学習情報提供の更なる充実に取り組みました。

■ 岩手ならではの学習機会の提供

県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等において、本県の豊かな自然、文化、歴史等の資源をテーマとした講座を開催し、子どもから大人まで幅広い年齢層のニーズに応じたテーマ設定により、多様な学習機会の提供に取り組みました。

また、県立図書館において、東日本大震災津波や防災等の学び合いスペース「Iールーム」を活用したワークショップの実施やレファレンス支援※¹、図書のセット貸出など、児童生徒やグループによる学び・探究等の支援に取り組みました。

■ 学びと活動の循環による地域の活性化

「学校を核とした地域づくり」及び「地域とともにある学校づくり」の充実に向けた研修会を開催し、教育振興運動を基盤としたコミュニティ・スクール※²と地域学校協働活動の一体的な推進を図る取組を進めました。

また、県立生涯学習推進センターにおいて、生涯学習・社会教育関係職員や指導者・ボランティアを対象とした地域づくりに関する研修や交流機会の提供等により、地域づくり人材の育成に取り組みました。

■ 社会教育の中核を担う人材の育成

県民の生涯を通じた学習活動を支援するため、社会教育関係者や地域づくり関係者、地域学校協働活動推進員等を対象に研修会や実践交流を行い、指導者相互のネットワーク化を推進しました。

また、ICTの活用促進や社会教育人材の専門性向上とスキルアップを図る研修内容の充実に取り組み、社会教育の中核を担う人材の育成を進めました。

■ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

県民一人ひとりが学びたい時に学べる環境を整備するため、博物館等の県立社会教育施設のハード面、ソフト面の充実を計画的に進め、アウトリーチ型の学びの機会の提供に取り組み、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供しました。

また、市町村が設置する公民館等の学びの拠点の充実のため、ニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流を積極的に進めました。

【用語解説】

※¹ レファレンス支援：図書館利用者が求める資料や情報を探す支援をするサービス。

※² コミュニティ・スクール：学校運営協議会を設置する学校のことで、学校と保護者や地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることにより、連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組み。

II 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、

また、安心して子育てをすることができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

【概要】

教育関連の指標はなし

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
12 合計特殊出生率		1.30	1.58	1.50					
13 待機児童数[4月1日時点]	人	12	0	0					
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	62.9	64.0	64.0					
15 総実労働時間[年間]	時間	1,761.6	1,633.0	1,658.7					
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均]※	%	39.2	50.0	47.5					
17 犬、猫の返還・譲渡率	%	犬 100	100	100					
18		猫 98.8	100	99.7					

※ 女性の家事時間に対する割合

【特記事項】

—

【参考指標】

調査項目		単位	現状値 (R3)	R7	備考
4	共働き男性の家事時間	分	125		—
5	共働き女性の家事時間	分	319		—
6	50歳時未婚率	%	男性 ② 29.61		5年ごとの公表
7			女性 ② 16.70		5年ごとの公表

主な取組事項

■ 家庭教育を支える環境づくりの推進

「すこやか子育て相談」のチラシを作成・配布し、子育てに係る相談窓口の周知と利用促進を図りました。

また、家庭教育・子育て支援に関わる地域人材の活用や多様な団体との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーターなど関係者の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施し、現代的課題の解決のためのネットワークの形成に取り組みました。

■ 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

「教育振興運動標語コンテスト」の入賞作品を掲載したポスターを、県内の学校及び社会教育施設に配付し、教育振興運動の周知啓発に取り組みました。

また、地域の教育課題の解決に向け、学校・家庭・地域が連携した取組を促進するため、県内における「家庭学習の充実」及び「体験活動の充実」に関する好事例を実践事例集として公表・周知するとともに、研修や交流の機会の提供により、地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置の支援に取り組みました。

■ 豊かな体験活動の充実

「教育振興運動推進プラン（2024～2028）」に基づき、「体験活動の充実」を全県共通課題の1つとし、連携協定締結企業との連携体制の構築を図るとともに、放課後子供教室等による体験活動、社会教育施設等を活用した自然体験活動など、子どもたちの体験活動の場の提供に取り組みました。

■ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

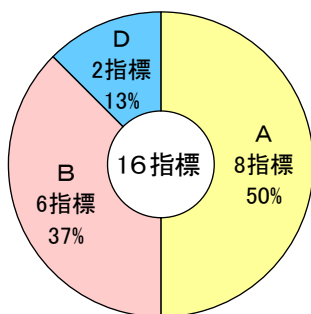
地域ぐるみで特別支援教育を支援する体制を構築するため、授業の補助や学校生活の支援を行う特別支援教育サポーターの養成に取り組むとともに、県内各校で「岩手特別支援教育ボランティアバンク」の積極的な活用につながるよう、各種研修において活用事例の周知と広報資料配付によるPRに取り組みました。

Ⅲ 教育

学びや人づくりによって、

将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標 18 指標は、達成度A、Bの指標が 14 指標 (87%)、達成度Dの指標が2指標 (13%)でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち、全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学校の女子が全国順位が上昇、小学校の男女、中学校の男子が下降しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	％	小 82.5	82.5	82.5	84.3	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	81.3	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	％	小 83.0	83.0	83.0	86.6	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	86.6	A	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	％	小 68	70	70	63	B	-	-	-
24		中 67	68	68	62	B	-	-	-
25		高 62	70	68	64	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	％	小 76.4	80.0	79.0	85.3	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	79.0	85.2	A	-	-	-
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	％	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10 位 (2 位)	16 位 (3 位)	下降 (下降)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	75.6	B	8 位 (2 位)	12 位 (4 位)	下降 (下降)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	75.6	A	5 位 (2 位)	7 位 (2 位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	85.4	B	7 位 (1 位)	6 位 (1 位)	上昇 (横ばい)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	％	96.0	96.0	96.0	97.3	A	-	-	-
33 高卒者の県内就職率	％	74.1	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	％	小 82.1	84.0	83.6	84.9	A	-	-	-
35		中 72.8	76.0	75.2	72.3	D	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	％	47.0	50.0	49.5	教育関連以外のものは非表示としています。				

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：教育課程全体を通じて道徳教育を推進した結果、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は98%と高い水準を示し、「そう思う」と回答した生徒の割合も前年度から増加したものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。

- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（中学生）：キャリア教育や進路指導の充実に取り組み、将来の夢や目標を持つことに「当てはまる」と回答した生徒の割合は全国平均を上回り前年度から増加したものの、変化が激しく先行き不透明な社会情勢の中で将来に不安を感じるなど、夢や目標を持っていない生徒が一定数いることなどから、伸び悩みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
8	%	小 国語 50	46	-
9		小 算数 42	56	-
10		中 国語 37	48	-
11		中 数学 57	63	-
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

主な取組事項

■ これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

いわて幼児教育センターにおいて、研修・支援・研究の3つの機能を通して「就学前教育の質の向上」「幼児教育と小学校教育の円滑な接続」の推進に取り組みました。

また、教育活動の質を向上させるため、県と市町村教育委員会が協議会を組織し、児童生徒1人1台端末の整備・更新やICTの活用の実践等の全県的な取組を進めました。

■ 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

授業改善の推進のため、諸調査の結果から学年や教科を超えた課題を洗い出し、全教職員で課題解決を図りました。

また、各教科で解決すべき課題について、教科担当を中心に校種を超えた学習内容の系統性を踏まえた課題解決を図りました。

さらに、家庭学習の充実のため、自身に適した学習習慣の確立に取り組んだほか、自主的・自発的な家庭学習については、学習内容や学習計画を含めた学び方を評価するとともに、取組方法の振り返りを行うなど質的な改善を図りました。

■ 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成

多様な価値観を認め合う道徳性の涵養や人権意識の醸成に向け、教員育成指標に基づいた基本研修の内容の充実を図るとともに、各地域において研修会を開催したほか、「道徳教育啓発リーフレット」や「人権教育啓発リーフレット」を作成し、道徳科を要とした道徳教育及び自他の人権を尊重する人権教育の充実に取り組みました。

■ 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

「教育振興運動推進プラン（2024～2028）」に基づき、全県共通課題として掲げた「体験活動の充実」が図られるよう、多様な体験活動の具体例をとりまとめた実践事例集を作成・公表しました。

■ 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

運動習慣、食習慣及び生活習慣の一体的な改善に向け「チャレンジカード※¹」の活用等による「60（ロクマル）プラスプロジェクト※²」を推進したほか、「岩手県立学校熱中症対策ガイドライン（令和6年5月策定）」や「学校におけるアレルギー疾患対応指針（令和7年3月改訂）」などに基づき、児童生徒等の命や健康を守る体制整備等に取り組みました。

■ 適切な部活動体制の推進

適切な休養日の設定、体罰や暴言のない適切な指導、部活動指導員等の外部人材の活用を行い、部活動運営の適正化に取り組みました。

また、中学生や保護者等を対象とした事例発表やワークショップ等を行い、学校部活動の段階的な地域クラブへの展開に向けた情報発信に取り組みました。

■ 各校種における指導・支援の充実

各種研修会において、特別支援学校の児童生徒と小・中・高等学校の児童生徒との交流及び共同学習の意義を伝えるとともに、児童生徒の相互理解が促進されるよう、居住地校での交流及び共同学習や、学校間交流を実施しました。

また、小・中・高等学校における特別支援教育の指導の充実につながるよう、小・中・高等学校職員も参加できる特別支援学校の公開授業研究会や特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした

継続的な研修会を実施しました。

■ いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対応

いじめの未然防止、早期発見・適切な対応に向け、県立学校で実施している1人1台端末等を利用した教育相談「こころの相談室」や「心の健康観察」について、市町村教育委員会に周知を行い、市町村立学校における同様の取組を促進するなど、悩みや不安を抱える児童生徒がいつでも相談できる体制を構築するとともに、関係機関等と連携を図りながら、児童生徒の心のサポートに取り組みました。

■ 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

教育相談体制の充実と適切な支援につなげるため、24時間子供SOSダイヤル、教育相談「こころの相談室」、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置のほか、県教育支援センター「ふれあいルーム」の運営に取り組みました。

また、不登校児童生徒支援連絡会議において、教育支援センターやフリースクール等の様々な関係機関と連携を図ったほか、上記連絡会議が主催となり不登校支援フォーラムを開催し、不登校児童生徒の教育機会の確保に取り組むとともに、不登校支援ガイドブックの作成やポータルサイトの構築を行いました。

■ 安全でより良い教育環境の整備

通学時の児童生徒の安全を確保するため、市町村が配置するスクールガードリーダー等への支援や自転車の安全対策に取り組みました。

また、二戸地区における新たな小中高等部一貫の特別支援学校の整備、県立学校のトイレ洋式化等の学校施設・設備の計画的な整備を進めるとともに、老朽化している宮古商工高等学校及び宮古水産高等学校の合築による整備について、建築工事に着手しました。

さらに、「新たな県立高等学校再編計画後期計画」に基づく取組を着実に推進するとともに、「第3期県立高等学校再編計画」の策定に取り組みました。

加えて、県内外で大規模災害が発生した際に学校教育の早期再開、子どもの学びの場の確保等の教育復興を支援するため、岩手県災害時学校支援チーム「D-E S Tいわて」を設立しました。

■ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、市町村が校内教育支援センターの支援員を配置するために必要な経費の補助を行うなど、不登校児童生徒の教育機会の確保に取り組みました。

また、県立高等学校入学者選抜において、調査書を評価の対象としない「チャレンジ枠」を継続して設けるなど、様々な事情を抱える生徒への支援の充実に取り組みました。

■ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

岩手の教育を担う有為な人材の確保のため、大学3年生選考や幼稚園教諭経験者特別選考の導入等、採用選考の大幅な見直しを図るとともに、県内外の大学生を対象とした大学訪問の拡充や教職を目指す高校生を対象とした教職セミナーを開催し、県が求める教員像の周知と教員の魅力発信の強化に取り組みました。

また、教員が意欲をもって働き続けることができるよう、持続可能な勤務環境の整備に取り組むとともに、「再発防止「岩手モデル」^{※3}」の周知により、教職員の意識向上に取り組みました。

■ 「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育^{※4}」プログラムに基づく各学校の復興教育の取組を支援するとともに、児童生徒実践発表会におけるいわての復興教育の取組成果の共有、就学前児童向けの絵本活用の推進など、児童生徒等の発達段階に応じた復興教育を推進しました。

また、震災の経験や教訓を引き継ぐため、副読本（英語版含む）のホームページへの掲載、県立図書館内の「Iルーム」の活用などにより、情報発信に取り組みました。

【用語解説】

※1 チャレンジカード：児童生徒の健康の保持増進に向けて、運動習慣、食習慣及び生活習慣の各取組を記録するために、県教育委員会が各学校へ配付しているカード。

※2 60（ロクマル）プラスプロジェクト：子ども達の「健やかな体の育成」に向けて、児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立を図るために実施している、各学校において運動習慣、食習慣及び生活習慣を相互に関連づけた一体的な取組を推進する事業。

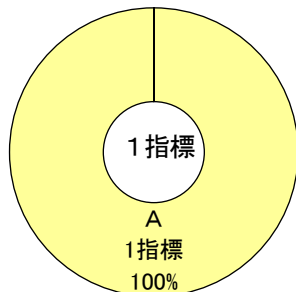
※3 再発防止「岩手モデル」：教職員等による児童生徒に対する暴力や暴言及びハラスメント等不適切な指導の根絶に向け、令和6年5月に策定。

※4 いわての復興教育：東日本大震災津波の体験を踏まえ、県内全ての学校が、それぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、郷土を愛し、いわての復興・発展を担う「ひとつくり」を進めていくための教育。

VII 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Aの指標が1指標（100%）でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「国、県指定文化財件数」は全国順位が上昇しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
64	世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	898	教育関連以外のものは非表示としています。				
65	国、県指定文化財件数	件	574	589	586	593	A	31 位 (3 位)	27 位 (4 位)	上昇 (下降)
66	民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	393	393	393	教育関連以外のものは非表示としています。				

【特記事項】

—

5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

（基本方向）

生涯を通じて楽しく学ぶことができ、一人ひとりの学びをコミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に役立てていくため、ＩＣＴを活用した学習情報の提供や、令和６年度に６０周年を迎える教育振興運動と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進することにより、学習機会の充実を図り、学びの成果を地域の活性化につなげる仕組みづくりを推進します。

また、県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、自然、文化、歴史など、あらゆる資源を学びの対象や場とすることにより、岩手ならではの学びの提供に取り組みます。

さらに、誰もが学びたい時に学べる環境を整備するため、社会教育の中核を担う人材を育成するとともに、多様な学びのニーズに応じた社会教育施設の充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 D の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 10 指標は、達成度 A、B の指標が 10 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
8	余暇時間[一日当たり]※1	分	372	382	382	教育関連以外のものは非表示としています。				
11	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	50.0	49.0	45.2	D	-	-	-

※1 休日を含む 1 週間の平均

【特記事項】

- ・ 生涯学習に取り組んでいる人の割合：コロナ禍に比べ回復傾向にあるものの、多様な情報メディア等の普及等により、生涯学習への新たな参加が十分に広がらず、伸び悩みました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 10 指標は、達成度 A、B の指標が 10 指標（100%）でした。

(1) 多様な学習機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
58 生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	885	1,030	1,000	992	B
59 生涯学習情報提供システム(データベース)利用件数	件	4,166	6,180	6,000	5907	B
60	%	小 89	90	90	85	B
61 「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合		中 85	85	85	79	B
62		高 84	85	85	78	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	352	351	58	12	0	281	6 (86%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (14%)	4 (44%)	4 (44%)	1 (12%)	0 (0%)

(2) 岩手ならではの学習機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
63 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	678	1,200	1,150	1,915	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	1,022	1,018	8	99	0	911	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 学びと活動の循環による地域の活性化

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
64 教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	95.7	91.7	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	113	112	51	0	0	61	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 社会教育の中核を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
65 社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	107	160	150	184	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	16	16	0	11	0	5	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

(5) 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

◆具体的推進方策指標の状況

	指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
66	県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	91	96	A
67	県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合	%	—	97	97	99	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
6	1,450	1,439	10	118	0	1,311	5 (83%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (17%)	3 (50%)	3 (50%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は46位、満足度は35位となり、ニーズ度は44位となっています。

6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります

（基本方向）

安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、結婚、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や子育てにやさしい職場づくりを進めます。

また、子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して学ぶことができるよう、教育の機会を確保するとともに、障がい児とその家族の多様なニーズに対応した地域療育支援体制の一層の充実を図ります。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A、B の指標が 3 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
12 合計特殊出生率		1.30	1.58	1.50					
13 待機児童数〔4月1日時点〕	人	12	0	0					

教育関連以外のものは非表示としています。

【特記事項】

—

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A、B の指標が 3 指標（100%）でした。

（1）結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

—

（2）安全・安心な出産環境の整備

—

(3) 子育て家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
75 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)	人	142	0			
76 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	85.0	89.0	A
77 保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕	件	114	456			
78 いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数〔累計〕	事業者	75	515			
79 いわて働き方改革推進運動参加事業者数〔累計〕【再掲】	事業者	680	1,350			

【特記事項】

—

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	112	111	51	0	0	60	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

—

(5) 障がい児の地域療育支援体制の充実

—

(6) 家庭教育を支える環境づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
88 すこやかメールマガジンの登録人数	人	3,635	6,000	5,500	5,427	B
89 子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	559	645	635	655	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	115	113	51	0	0	62	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「安心な子育て環境整備」の重要度は18位、満足度は38位となり、ニーズ度は14位となっています。



7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

（基本方向）

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を実現するため、令和6年度に60周年を迎える教育振興運動と地域学校協働活動を総合的かつ一体的に推進することにより、学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを進めます。

また、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、放課後子供教室等により、地域の実状に応じた子どもの学びの場づくりを支援します。

さらに、特別支援教育に対する県民理解の醸成や参加促進を図るため、特別支援教育サポーターの養成などにより、障がいに関する正しい理解や「共に学び、共に育つ教育」の推進に向けた啓発活動に取り組みます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
14 地域の行事に参加している生徒の割合〔中学生〕	%	62.9	64.0	64.0			教育関連以外のものは非表示としています。		

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が7指標（100%）でした。

(1) 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
90 コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	%	19.0	90.0	85.0	97.9	A
91 保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合	%	小 ⑤ 95.9	95.9	95.9	100.0	A
92		中 57.8	90.0	89.0	100.0	A
93 教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	95.7	91.7	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
3	114	112	51	0	0	61	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 豊かな体験活動の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
94 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	67.0	90.0	85.0	89.0	A
95 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	142	0	30		
96 県立青少年の家・野外活動センターが提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	—	98	98	100	A

【特記事項】

—

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	112	111	51	0	0	60	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
97 特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	335	480	450	465	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携」の重要度は28位、満足度は23位となり、ニーズ度は34位となっています。

9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

（基本方向）

仕事と生活を両立できる環境をつくるため、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上等の働き方改革や、育児休業・介護休業制度の普及促進等により、性別を問わず一人ひとりの事情に対応できる、働きやすい職場づくりを推進します。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
13	待機児童数[4月1日時点]	人	12	0	0	教育関連以外のものは非表示としています。				
15	総実労働時間[年間]	時間	1,761.6	1,633.0	1,658.7					
16	共働き世帯の男性の家事 時間割合[週平均]※	%	39.2	50.0	47.5					

※ 女性の家事時間に対する割合

【特記事項】

—

2 県の実践（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

（1）働き方改革の実践の推進

—

(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
107 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	142	0			
108 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	85.0	89.0	A
109 保育士・保育所支援センターマッチング件数〔累計〕【再掲】	件	114	456			
110 いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数〔累計〕【再掲】	事業者	75	515			

【特記事項】

—

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般				
1	112	111	51	0	0	60	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) いきいきと働き続けるための健康づくりの推進

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「仕事と生活を両立できる環境」の重要度は16位、満足度は43位となり、ニーズ度は10位となっています。

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

（基本方向）

将来の予測が困難な時代において、子どもたち一人ひとりに未来の創り手となるために必要な資質・能力が求められていることから、教育におけるＤＸや学校と地域の「共創」による学びなどを進め、岩手の子どもたちの、主体的に学び他者との協働により学びを深め新たな価値を創造し、地域を活性化する力を育成します。

また、学習指導要領等を着実に実施するとともに、学校、家庭、地域が連携・協働しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 14 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 13 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	計画目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	84.3	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	81.3	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	86.6	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	86.6	A	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
8	%	小 国語 50	46	-
9		小 算数 42	56	-
10		中 国語 37	48	-
11		中 数学 57	63	-

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 14 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 13 指標（100%）でした。

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
116	%	小 ー	53	52	52	A
117		中 ー	45	44	48	A
118		高 ー	88	87	90	A
119	%	小 ー	67	66	75	A
120		中 ー	56	55	58	A
121	%	ー	100	90	87	B
122	%	78	90	86		

【特記事項】

- ・ 授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合：県と市町村の教育長で構成する岩手県学校教育DX・学力育成協議会等において、タイピングチャレンジキャンペーンなどを実施し、ICTの利活用の推進に取り組みましたが、国の調査結果が未公表のため、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
10	879	870	132	670	0	68	10 (84%)	1 (8%)	1 (8%)	0 (0%)	10 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
123	%	小 ー	58	56	57	A
124		中 ー	48	46	44	B
125		高 ー	82	81	83	A
126	%	小 ー	66	65	56	B
127		中 ー	60	59	48	B
128		高 ー	55	54	56	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
3	24	23	0	1	0	22	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
129	%	66	70	69	69	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
8	208	183	132	18	0	33	8 (89%)	1 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和8年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は22位、満足度は26位となり、ニーズ度は24位となっています。

12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命（いのち）を大切に、人権を尊重する心や良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、多様な価値観を認め合う機会や教育振興運動と連携した他者との協働活動等の充実により、これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 5 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（80%）、達成度 D の指標が 1 指標（20%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	63	B	-	-	-
24		中 67	68	68	62	B	-	-	-
25		高 62	70	68	64	D	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	79.0	85.3	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	79.0	85.2	A	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：教育課程全体を通じて道徳教育を推進した結果、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は 98%と高い水準を示し、「そう思う」と回答した生徒の割合も前年度から増加したものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
12	人	小 8.4	-	-
13 不登校児童生徒数〔千人当たり〕		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 15 指標は、達成度 A、B の指標が 13 指標（87%）、達成度 D の指標が 2 指標（13%）でした。

（1） 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
130	%	小 ー	80	79	73	B
131		中 ー	84	83	76	B
132		高 ー	90	90	87	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	2	2	2	0	0	0	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

（2） 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
133	%	小 ー	88	87	91	A
134		中 ー	88	87	90	A
135		高 ー	90	90	95	A
136	%	小 89	90	90	85	B
137		中 85	85	85	79	B
138		高 84	85	85	78	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	1	1	0	0	0	1	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (20%)	3 (60%)	1 (20%)	0 (0%)

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
139	%	小 69	75	74	71	D
140		中 65	72	71	67	D
141		高 68	86	82	82	A

【特記事項】

- 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合（小学生、中学生）：小中学校で実施している芸術鑑賞等により、中学校では昨年度を上回るなど一定の改善が見られたものの、各学校において学校行事の精選等の教育課程の見直しが進む中で、地域の郷土芸能団体や指導者の減少等の影響もあり、文化芸術や伝統活動に触れる機会が減少したことなどから、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
4	70	63	15	2	0	46	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (57%)	2 (29%)	0 (0%)	1 (14%)

(4) 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
142	%	小 ー	86	85	86	A
143		中 ー	86	85	89	A
144		高 ー	86	85	87	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	2	1	1	0	0	0	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は8位、満足度は22位となり、ニーズ度は13位となっています。

13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域などと連携し、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の形成による健康の保持・増進に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進します。

また、「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づき、適切な部活動の推進に取り組めます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 A、B の指標が 4 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（87%）、達成度 D の指標が 1 指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
28	%	小 男子 68.9	70.0	70.0	67.6	B	10 位 (2 位)	16 位 (3 位)	下降 (下降)
29		小 女子 79.1	80.0	80.0	75.6	B	8 位 (2 位)	12 位 (4 位)	下降 (下降)
30		中 男子 74.8	75.0	75.0	75.6	A	5 位 (2 位)	7 位 (2 位)	下降 (横ばい)
31		中 女子 88.8	90.0	90.0	85.4	B	7 位 (1 位)	6 位 (1 位)	上昇 (横ばい)

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（87%）、達成度 D の指標が 1 指標（13%）でした。	具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（87%）、達成度 D の指標が 1 指標（13%）でした。

(1) 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
145 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	86	89	89	89	A
146 朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	小 96.6	97.0	97.0	94.7	B
147		中 89.2	93.0	92.0	88.3	D
148 毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	%	小 84.7	85.0	85.0	84.9	B
149		中 84.6	85.0	85.0	85.1	A
150 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	89.9	100	100	94.2	B

【特記事項】

- 朝食を毎日食べる児童生徒の割合（中学生）：60（ロクマル）プラスプロジェクトの推進により、望ましい食習慣の形成等に取り組みましたが、スクリーンタイムの増加等による生活習慣の変化や朝食摂取の重要性に対する理解不足、家庭における朝食習慣の影響等により、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
5	7	5	2	1	0	2	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 適切な部活動体制の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
151 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持っている学校の割合	%	中 86.6	100	96.0	97.2	A
152		高 93.1	100	99.0	98.4	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
6	172	158	15	16	0	127	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (40%)	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「子どもの体力向上や心身の健康保持」の重要度は20位、満足度は12位となり、ニーズ度は32位となっています。

14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

（基本方向）

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの自立や社会参加を目指し、切れ目のない支援が行われるよう、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援を充実します。

また、全ての児童生徒が地域の学校で共に学ぶことができるよう、通級による指導や特別支援学級での指導の充実などにより、一人ひとりの教育的ニーズに対応するとともに、教職員の専門性の向上を図ります。

さらに、共生社会の形成に向け、県民向け公開講座の実施や特別支援教育サポーターの養成など、県民と協働した特別支援教育の体制づくりを推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A の指標が 6 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	97.3	A	-	-	-

2 県の実施（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A の指標が 6 指標（100%）でした。

（1）就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
153 「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	71	100	100	100	A
154 いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数	社	123	151	145	149	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	156	153	0	13	0	140	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	0 (0%)	2 (50%)	0 (0%)

(2) 各校種における指導・支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

	指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
155	交流籍※の活用や学校間交流等により交流及び共同学習を実施した児童生徒の割合	%	66	74	72	76	A
156	特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数[累計]	人	454	1,030	905	996	A

※ 特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域の小・中・義務教育学校に副次的に置く籍。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	54	53	0	1	0	52	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 教育環境の充実・県民理解の促進

◆具体的推進方策指標の状況

	指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
157	県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	100	100	A
158	特別支援教育サポーターの登録者数	人	335	480	450	465	A

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	2,134	2,114	644	176	977	317	5 (83%)	0 (0%)	1 (17%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和8年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は19位、満足度は29位となり、ニーズ度は22位となっています。

15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりが お互いを尊重する学校をつくります

（基本方向）

全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応に取り組みます。

また、不登校などの未然防止、早期発見・適切な対応を推進するため、ＩＣＴを活用した教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策を推進します。

さらに、児童生徒がデジタル社会等において健全な生活を送るため、情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付ける取組を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 3 指標は、達成度 B の指標が 2 指標（67%）、達成度 D の指標が 1 指標（33%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 9 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 7 指標（87%）、達成度 D の指標が 1 指標（13%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 68	70	70	63	B	-	-	-
24		中 67	68	68	62	B	-	-	-
25		高 62	70	68	64	D	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（高校生）：教育課程全体を通じて道徳教育を推進した結果、肯定的な回答（「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」）をした生徒の割合は 98%と高い水準を示し、「そう思う」と回答した生徒の割合も前年度から増加したものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、伸び悩みました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 9 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 7 指標（87%）、達成度 D の指標が 1 指標（13%）でした。

(1) いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
159	いじめはいけなと思う児童生徒の割合	%	小 97.0	100	100	97.4	B
160			中 97.4	100	100	96.6	B
161	認知したいじめが解消した割合	%	98.1	100	100		

【特記事項】

- 認知したいじめが解消した割合：各校のいじめ対策組織を中心として、いじめの解消に向け、被害児童生徒との面談を定期的に行うなど、被害児童生徒に寄り添った取組を推進しましたが、国の調査結果が未公表のため、実績値は測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
2	10	9	1	1	0	7	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
162	学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合	%	小 87	91	90	85	D
163			中 84	91	89	88	B
164			高 89	91	91	93	A

【特記事項】

- 学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小学生)：学校生活満足度を高めるため、いじめの未然防止、早期発見と適切な対処を組織的かつ実効的に進めるなど、魅力ある学校づくりに取り組みましたが、子どもの多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、学校生活に対する個々の満足度に差異がみられたことから、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
5	351	344	200	1	0	143	4 (57%)	3 (43%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
165	スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合	%	小 ー	100	100	97	B
166			中 ー	100	100	99	B
167			高 ー	100	100	99	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	2	2	0	1	0	1	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- 令和8年県民意識調査によると、「いじめや不登校への適切な対処」の重要度は6位、満足度は50位となり、ニーズ度は5位となっています。

16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

（基本方向）

児童生徒の学校における安全・安心な環境が確保されるよう、学校施設等の安全点検による事故等の未然防止など学校安全計画の組織的な推進や、学校・家庭・地域・関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育、学校施設・設備の計画的な老朽化対策などを推進します。

また、地域とともにある学校、魅力ある学校づくりを進めるため、スクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動の充実、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域との連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクールの取組などを推進します。

さらに、質の高い教育を行えるよう、多様な評価に基づく教員採用試験の実施や教員等育成指標に基づく体系的な研修の充実等により、教員の育成と資質向上を進めます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標（86%）、達成度 C の指標が 1 指標（14%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							R3	R7	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	82.5	84.3	A	-	-	-
20		中 85.4	85.4	85.4	81.3	B	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	83.0	86.6	A	-	-	-
22		中 83.5	83.5	83.5	86.6	A	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	80.0	79.0	85.3	A	-	-	-
27		中 76.2	79.0	79.0	85.2	A	-	-	-
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	96.0	97.3	A	-	-	-

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
12	人	小 8.4	-	-
13		中 39.6	-	-
14		高 19.8	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標（86%）、達成度 C の指標が 1 指標（14%）でした。

（1）安全でより良い環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
168 地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	81.8	85.0	85.0	94.0	A
169 県立高校の長寿命化改修・大規模改造等実施施設数〔累計〕	施設	3	9	7	7	A
170 県立学校のトイレ洋式化率（生徒等に対する充足率）	%	76.5	86.0	83.9	86.5	A

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト（百万円）						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
12	2,971	2,221	13	60	1,671	477	7 (87%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (13%)	8 (66%)	2 (17%)	0 (0%)	2 (17%)

（2）魅力ある学校づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
171 コミュニティ・スクールを導入している学校の割合【再掲】	%	19.0	90.0	85.0	97.9	A
172 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	50	75	75	67	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト（百万円）						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	39	17	8	0	0	9	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

（3）多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
173 教育支援センターを設置している市町村数	市町村	21	33	30	27	C

【特記事項】

- ・ 教育支援センターを設置している市町村数：多様な学びの場を確保するため、教育支援センターの設置促進に向けた情報提供等に取り組みましたが、指導員等の人材の確保や設置場所、予算の確保などが難しいことから、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	13	12	5	0	0	7	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
174 教職大学院の現職教員修了者数[累計]	人	23	63	55	54	B

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
10	354	347	47	1	0	298	9 (90%)	1 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (45%)	3 (33%)	2 (22%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和8年県民意識調査によると、「子どもが安全・安心に学ぶことができる環境」の重要度は9位、満足度は13位となり、ニーズ度は19位となっています。

18 地域に貢献する人材を育てます

（基本方向）

郷土を愛し、岩手の復興・発展を支える人材を育成するため、「いわての復興教育」などの取組を推進し、東日本大震災津波の教訓等を県内外に発信し、後世に語り継いでいきます。

また、産業を担う人材を育成するため、総合生活力や人生設計力の育成に努め、キャリア教育を充実するとともに、各分野における専門知識や技術の習得・向上を推進します。

さらに、社会が急激に変化し、グローバル化が進展する中、国際的な視野と地域に貢献する視野を持ったグローバル人材を育成するため、海外留学などの機会を充実するとともに、岩手県の歴史・文化の探求や、地域活動への積極的な参加を促進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（50%）、達成度 D の指標が 1 指標（50%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A、B の指標が 3 指標（50%）、達成度 D の指標が 3 指標（50%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
33	高卒者の県内就職率	%	74.1	84.5	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34	将来の夢や目標を持って	%	小 82.1	84.0	83.6	84.9	A	-	-	-
35	いる児童生徒の割合		中 72.8	76.0	75.2	72.3	D	-	-	-
36	県内大学等卒業者の県内就職率	%	47.0	50.0	49.5	教育関連以外のものは非表示としています。				

【特記事項】

—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A、B の指標が 3 指標（50%）、達成度 D の指標が 3 指標（50%）でした。	具体的推進方策指標 6 指標は、達成度 A、B の指標が 3 指標（50%）、達成度 D の指標が 3 指標（50%）でした。

(1) 「いわての復興教育」などの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
177	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 72	74	73	70	D
178			中 53	60	59	55	D
179			高 45	52	51	52	A

【特記事項】

- 自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合（小学生、中学生）：郷土を愛し、復興・発展を支える「いわての復興教育」等を推進しましたが、少子化により地域活動の継続が困難になっていることや、学校行事の精選等の教育課程の見直しが進む中で、地域の良さを実感する機会を十分に確保できなかったことから、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
4	77	57	8	44	0	5	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (72%)	1 (14%)	0 (0%)	1 (14%)

(2) キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
180	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	48	55	54	53	B

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
3	42	26	5	15	0	6	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) ものづくり産業人材の育成・確保・定着

—

(4) 農林水産業の将来を担う人材の育成

—

(5) 建設業の将来を担う人材の確保、育成

—

(6) デジタル人材の育成

—

(7) 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

—

(8) 岩手と世界をつなぐ人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
190 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 42.9	51.0	49.0	48.6	B
191		高 49.0	57.0	55.0	49.4	D

【特記事項】

- ・ 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合（高校生）：指導主事による個別訪問を通して教員の授業力向上に取り組みましたが、質の高い言語活動を実施するための授業改善や、指導と評価の一体化の充実を十分に図ることができず、伸び悩みました。

◆推進方策を構成する事業の状況（前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
7	232	231	1	1	0	229	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (87%)	1 (13%)	0 (0%)	0 (0%)

(9) 地域産業の国際化に貢献する人材の育成

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和8年県民意識調査によると、「次世代を担う人材育成」の重要度は29位、満足度は36位となり、ニーズ度は28位となっています。

◎ 政策項目を取り巻く参考データ等

- ・ 東北各県の大学等卒業者の県内就職率

年度	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県
令和6年度	33.1%	39.8%	37.2%	41.6%	27.1%	42.5%
令和7年度	34.1%	41.1%	36.9%	40.9%	22.6%	42.4%

31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

（基本方向）

県民一人ひとりが能力を発揮でき、ライフステージやライフスタイルに合わせて希望に応じた多様な働き方ができる環境づくりに向け、長時間労働の是正やデジタル技術等を活用した企業の生産性向上等の働き方改革を推進するとともに、働く人のエンゲージメントを高め、若者や女性にも魅力ある雇用・労働環境の整備を促進します。

また、人口減少の歯止めや県内企業の人材確保のため、関係機関・団体が連携し、キャリア教育や県内企業の採用力向上等の取組により県内就業を促進するとともに、様々なニーズに応じた効果的な取組によりＵ・Ｉターンを促進します。

さらに、岩手の将来を担う若者をはじめ、女性・高齢者・障がい者など、誰もが活躍できる全員参加型社会の実現のため、個々の特性や希望に応じて持てる能力を最大限に発揮できる職業能力の開発などに取り組めます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100％）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
49	一人当たり県民所得の水準※	%	① 87.4	⑥ 90.0	⑤ 90.0	教育関連以外のものは非表示としています。				
50	正社員の有効求人倍率	倍	0.88	1.00	1.00					
51	総実労働時間〔年間〕【再掲】	時間	1,761.6	1,633.0	1658.7					
52	完全失業率	%	2.4	2.0	2.0					
53	高卒者の県内就職率【再掲】	%	74.1	84.5	84.5					
54	女性の全国との賃金格差※	%	84.4	89.4	88.2					

※ 全国を 100 とした水準

【特記事項】

—

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (R3)	R7	備考
17 非正規職員・従業員率	%	②⑨ 35.7		5年ごとの公表
18 雇用者一人当たり雇用者報酬	千円	① 4,043		—
19 現金給与総額〔5人以上、毎月〕	円	282,811		—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

(1) 県内就業の促進及び U・I ターンによる人材確保の推進

—

(2) 若者や女性などに魅力ある雇用・労働環境の構築

—

(3) 社会環境の変化に対応した職業能力開発の支援

—

(4) 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度
291 放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	142	0			
292 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	90.0	85.0	89.0	A
293 保育士・保育所支援センターマッチング件数[累計]【再掲】	件	114	456			
294 いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数[累計]【再掲】	事業者	75	515			

【特記事項】

—

◆推進方策を構成する事業の状況(前年度実績。事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
—							(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)

(5) 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和 8 年県民意識調査によると、「安定した就職環境」の重要度は 12 位、満足度は 55 位となり、ニーズ度は 1 位となっています。

40 世界遺産の保存と活用を進めます

（基本方向）

世界遺産等の価値を共有し、広めるため、保存管理計画に基づく適切な保存管理や県民の理解増進、「平泉の文化遺産」の世界遺産への拡張登録に向けた取組、県内外への情報発信などに取り組みます。

また、世界遺産を活用した人的・文化的交流を図るため、平泉世界遺産ガイダンスセンターを「平泉の文化遺産」の周遊・魅力発信の拠点として活用するとともに、本県が有する3つの世界遺産及び関連資産を有する地域間の連携・交流による一体的な取組を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
64	世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	805	教育関連以外のものは非表示としています。				
65	国、県指定文化財件数	件	574	589	583	593	A	31 位 (3 位)	27 位 (4 位)	上昇 (下降)

【特記事項】

—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

(1) 世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進

—

(2) 世界遺産の価値の普及と魅力の発信

—

(3) 3つの世界遺産の連携・交流の推進

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- 令和 8 年県民意識調査によると、「世界遺産を守り将来に伝えていくための取組」の重要度は 44 位、満足度は 6 位となり、ニーズ度は 48 位となっています。

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県が誇る民俗芸能に触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、地域に伝承されてきた文化財を後世に伝えていくため、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承に取り組むとともに、歴史資源や伝統文化を生かした地域活性化を図るため、地域の偉人や歴史、様々な文化財や多種多様な民俗芸能、食などの伝統文化や観光資源を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名		単位	現状値 (R3)	計画目標値 (R8)	年度目標値 (R7)	実績値 (R7)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
								R3	R7	比較
64	世界遺産等の来訪者数	千人	417	991	805	教育関連以外のものは非表示としています。				
65	国、県指定文化財件数	件	574	589	583	593	A	31 位 (3 位)	27 位 (4 位)	上昇 (下降)
66	民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	393	393	393					

【特記事項】

—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

（1）民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

—

（2）伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

—

3 その他（指標以外の状況など）

◎ 県民意識調査の結果

- ・ 令和 8 年県民意識調査によると、「郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境」の重要度は 41 位、満足度は 14 位となり、ニーズ度は 43 位となっています。

参考資料 1 令和7年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表

達成度：令和3年度現状値を基準とし、令和7年度実績値が、
令和7年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

- 【A】達成……………達成度の割合が100%以上
【B】概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
【C】やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
【D】遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 7		
	具体的な推進方策	具体的な推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福11	No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります	生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	46.1	49.0	45.2	D
推進58	①多様な学習機会の充実	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	885	1,000	992	B
推進59		生涯学習情報提供システム（データベース）利用件数	件	4,166	6,000	5,907	B
推進60		◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小 89	90	85	B
推進61			%	中 85	85	79	B
推進62			%	高 84	85	78	B
推進63	②岩手ならではの学習機会の提供	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	678	1,150	1,915	A
推進64	③学びと活動の循環による地域の活性化	◆教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合【再掲】	%	95.7	95.7	91.7	B
推進65	④社会教育の中核を担う人材の育成	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	107	150	184	A
推進66	⑤多様な学びのニーズに応じた拠点の充実	◆県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	96	A
推進67		◆県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合	%	—	97	99	A
—	No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります	—	—	—	—	—	—
推進76	③子育て家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	85.0	89.0	A
推進88	⑥家庭教育を支える環境づくりの推進	すこやかメールマガジンの登録人数	人	3,635	5,500	5,427	B
推進89		子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	559	635	655	A
—	No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	—	—	—	—	—	—
推進90	①学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合	%	19.0	85.0	97.9	A
推進91		保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合	%	小 95.9	95.9	100.0	A
推進92			%	中 57.8	89.0	100.0	A
推進93		◆教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.7	91.7	B
推進94	②豊かな体験活動の充実	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	67.0	85.0	89.0	A
推進96		◆県立青少年の家・野外活動センターが提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	—	98	100	A
推進97	③県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進	特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	335	450	465	A

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 7		
	具体的な推進方策	具体的な推進方策指標			目標	実績	達成度
—	No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	—	—	—	—	—	—
推進108	②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	85.0	89.0	A
幸福19	No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	84.3	A
幸福20			%	中 85.4	85.4	81.3	B
幸福21		◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	86.6	A
幸福22			%	中 83.5	83.5	86.6	A
指標116	①これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成	教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合	%	小 —	52	52	A
推進117			%	中 —	44	48	A
推進118			%	高 —	87	90	A
推進119		児童生徒の資質・能力の向上に向けて、「確かな学力育成プラン」に基づいて組織的に取り組んでいる学校の割合	%	小 —	66	75	A
推進120			%	中 —	55	58	A
推進121		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とともに幼児児童の姿を共有し、授業に生かしている小学校の割合	%	—	90	87	B
推進122		授業等で I C T機器を活用し、児童生徒に I C T活用について指導できる教員の割合	%	78	86	—	—
推進123	②児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実	諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合	%	小 —	56	57	A
推進124			%	中 —	46	44	B
推進125			%	高 —	81	83	A
推進126		学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合	%	小 —	65	56	B
推進127			%	中 —	59	48	B
推進128			%	高 —	54	56	A
推進129	③社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進	生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	66	69	69	A

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 7		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福23	No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	◆小 68	70	63	B
幸福24			%	◆中 67	68	62	B
幸福25			%	高 62	68	64	D
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	79.0	85.3	A
幸福27			%	中 76.2	79.0	85.2	A
推進130	①自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合	%	小 ー	79	73	B
推進131			%	中 ー	83	76	B
推進132			%	◆高 ー	90	87	B
推進133	②学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合	%	小 ー	87	91	A
推進134			%	中 ー	87	90	A
推進135			%	高 ー	90	95	A
推進136		◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 89	90	85	B
推進137			%	中 85	85	79	B
推進138	③学校における文化芸術教育の推進		%	高 84	85	78	B
推進139		様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 69	74	71	D
推進140			%	中 65	71	67	D
推進141	④主権者教育などによる社会に参画する力の育成		%	高 68	82	82	A
推進142		話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合	%	小 ー	85	86	A
推進143			%	中 ー	85	89	A
推進144			%	高 ー	85	87	A
幸福28	No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます	◆体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男 68.9	70.0	67.6	B
幸福29			%	小 女 79.1	80.0	75.6	B
幸福30			%	中 男 74.8	75.0	75.6	A
幸福31			%	中 女 88.8	90.0	85.4	B
推進145	①児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実	◆運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	86	89	89	A
推進146		朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	◆小 96.6	97.0	94.7	B
推進147			%	中 89.2	92.0	88.3	D
推進148		◆毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	%	小 84.7	85.0	84.9	B
推進149			%	中 84.6	85.0	85.1	A
推進150	②適切な部活動体制の推進	◆喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	89.9	100	94.2	B
推進151		部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持っている学校の割合	%	中 86.6	96.0	97.2	A
推進152			%	高 93.1	99.0	98.4	B

指標 No.	政策項目	いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 7		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福32	No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	97.3	A
推進153	①就学前から卒業後までの一貫した支援の充実	◆「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	71	100	100	A
推進154		いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数	社	123	145	149	A
推進155		交流籍の活用や学校間交流等により交流及び共同学習を実施した児童生徒の割合	%	66	72	76	A
推進156		特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数〔累計〕	人	454	905	996	A
推進157		◆県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	100	A
推進158		③教育環境の充実・県民理解の促進 特別支援教育サポーターの登録者数	人	335	450	465	A
幸福23	No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	◆小 68	70	63	B
幸福24			%	◆中 67	68	62	B
幸福25			%	高 62	68	64	D
推進159	①いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処	◆いじめはいけなと思う児童生徒の割合	%	小 97.0	100	97.4	B
推進160			%	中 97.4	100	96.6	B
推進161		◆認知したいじめが解消した割合	%	98.1	100	—	—
推進162	②児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進	学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合	%	小 87	90	85	D
推進163			%	中 84	89	88	B
推進164			%	高 89	91	93	A
推進165	③デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進	◆スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合	%	小 —	100	97	B
推進166			%	中 —	100	99	B
推進167			%	高 —	100	99	B
幸福19	No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 82.5	82.5	84.3	A
幸福20			%	中 85.4	85.4	81.3	B
幸福21		◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 83.0	83.0	86.6	A
幸福22			%	中 83.5	83.5	86.6	A
幸福26		自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 76.4	79.0	85.3	A
幸福27			%	中 76.2	79.0	85.2	A
幸福32		◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	96.0	96.0	97.3	A
推進168	①安全でより良い教育環境の整備	◆地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	81.8	85.0	94.0	A
推進169		県立学校の長寿命化改修・大規模改造実施施設数（累計）	施設	3	7	7	A
推進170		県立学校のトイレ洋式化率（生徒等に対する充足率）	%	76.5	83.9	86.9	A
推進171	②魅力ある学校づくりの推進	コミュニティ・スクールを導入している学校の割合【再掲】	%	19.0	85.0	97.9	A
推進172		◆自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	50	75	67	B
推進173	③多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供	教育支援センターを設置している市町村数	市町村	21	30	27	C
推進174	④教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上	教職大学院の現職教員修了者数（累計）	人	23	55	54	B

指標 No.	政策項目		単位	R 3 現状	R 7		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福34	No.18 地域に貢献する人材を育てます	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 82.1	83.6	84.9	A
幸福35			%	中 72.8	75.2	72.3	D
推進177	①「いわての復興教育」の推進	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合	%	小 72	73	70	D
推進178			%	中 53	59	55	D
推進179			%	高 45	51	52	A
推進180		②キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成	%	48	54	53	B
推進190	⑧岩手と世界をつなぐ人材の育成	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%				
推進191		中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 42.9	49.0	48.6	B
			%	高 49.0	55.0	49.4	D
—	No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります	—	—	—	—	—	—
推進292	④子育てと仕事の両立を図る家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	67.0	85.0	89.0	A
幸福65	40 世界遺産の保存と活用を進めます	国、県指定文化財件数	件	574	586	593	A
幸福65	No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます	国、県指定文化財件数	件	574	586	593	A

◆：維持することを目標としている指標

◎いわて幸福関連指標※

	指標数	割合
A	9	50%
B	6	33%
C	0	0%
D	3	17%
未確定	0	—
計	18	—

※複数の政策項目に関連しているいわて幸福関連指標の指標数は「1」としています。

◎具体的推進方策指標

	指標数	割合
A	45	53%
B	32	38%
C	1	1%
D	7	8%
未確定	2	—
計	87	—

指標 No.	政策項目	いわて幸福関連指標	単位	R 3 現状	R 7		
	具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績	達成度

2 いわて県民計画(2019～2028)政策推進プラン 事務事業一覧表

事務事業評価一覧表の見方

【重要】数値は「0」で示す(※事務事業評価)									
番号	事業名	区分	政策項目	事業内容	令和7年度 予算(千円)	令和7年度 実績(千円)	令和7年度 達成率	令和7年度 達成率	令和7年度 達成率
① 政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)									
1-1	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-2	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-3	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-4	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-5	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-6	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-7	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-8	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-9	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-10	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-11	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-12	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-13	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-14	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-15	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-16	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-17	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-18	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-19	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-20	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-21	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-22	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-23	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-24	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-25	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-26	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-27	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-28	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-29	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-30	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-31	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-32	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-33	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-34	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-35	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-36	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-37	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-38	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-39	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-40	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-41	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-42	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-43	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-44	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-45	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-46	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-47	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-48	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-49	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0
1-50	政策推進	再	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	政策推進プランの推進状況(※事務事業評価)	1,000	0	0	0	0

■事務事業評価一覧表

- 令和7年度に実施した政策的な事務事業について「予算・決算額」、「達成度」について取りまとめた表です。
- 10の政策ごとの事業数を記載しています。

■政策項目

50の政策項目名を記載しています。

■具体的な推進方策

県が主体となって取り組む「具体的な推進方策」を記載しています。

■復興推進プラン・総合戦略関連

復興推進プランに掲げられる事業について「復」を、岩手県ふるさと振興総合戦略に掲げられる事業について「総」を表示しています。

■令和7年度(千円)

令和7年度の最終予算額、決算額、翌年度への繰越額を記載しています。

■コロナ関連

新型コロナウイルス感染症関連の事業には「コ」を表示しています。

■区分

主掲事業の再掲となる事業には「再」を表示しています。

■指標結果

- 政策推進プランを構成する事業については、「活動内容指標」及び「成果指標」の令和7年度の実績値及び達成度を表しています。

・達成度の判定

達成度	目標達成率	達成率の算出方法
A	100%以上	<通常の指標、維持指標の場合>
B	80%以上100%未満	達成率=実績値/目標値×100
C	60%以上80%未満	<マイナス指標の場合>
D	60%未満	達成率=目標値/実績値×100

- 「一」は、実績が未確定等により判定できないものです。

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和5年度			指標名	単位	令和5年度		
		計画値	実績値	達成度			計画値	実績値	達成度
中高連携リーダー教員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高連携リーダー教員育成研修会への参加教員数	人	8	8	A
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の参加人数	人	200	200	A
就学前教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	91	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	150	813	A
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B
実施旧A実施学校の割合	%	100	100	A	実施旧Aの成果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A
イーハートブ・キャンプの開催回数	回	2	2	A	イーハートブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変化が見られた児童生徒の割合	%	80	80	A
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	11	11	A
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	岩手県GIGAスクール運営支援センター参加市町村数	市町村	5	4	B
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	99	B
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A

【Ⅰ 健康・余暇】132事業（再掲28事業を除く）

						令和7年度						
番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます												
① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実												
(1-128)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	博物館管理運営費	(339,047)	(336,263)	(537)	(17,601)	(0)	(318,125)	(0)
(1-129)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	美術館管理運営費	(443,177)	(441,626)	(598)	(70,206)	(0)	(370,822)	(0)
② 文化をめぐる新しい動向に対応した取組の推進												
③ 障がい者の文化芸術活動の推進												
④ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実												
1-117	教委	保健体 育課		総	運動部活動地域連携推進事業費	1,034	796	0	796	0	0	0
⑤ 障がい者スポーツ等への参加機会の充実												
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります												
① 多様な学習機会の充実												
(2-50)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	(111,777)	(110,523)	(51,478)	(0)	(0)	(59,045)	(0)
1-124	教委	生涯学 習文化 財課		総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)	232	197	0	0	0	197	0
(1-131)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	社会教育デジタル活用推進事業費	(15,399)	(15,370)	(0)	(11,596)	(0)	(3,774)	(0)
1-125	教委	生涯学 習文化 財課		総	図書館管理運営費	224,815	224,762	6,830	0	0	217,932	0
② 岩手ならではの学習機会の提供												
(1-128)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	博物館管理運営費	(339,047)	(336,263)	(537)	(17,601)	(0)	(318,125)	(0)
(1-129)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	美術館管理運営費	(443,177)	(441,626)	(598)	(70,206)	(0)	(370,822)	(0)
(1-131)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	社会教育デジタル活用推進事業費	(15,399)	(15,370)	(0)	(11,596)	(0)	(3,774)	(0)
(1-125)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	図書館管理運営費	(224,815)	(224,762)	(6,830)	(0)	(0)	(217,932)	(0)
③ 学びと活動の循環による地域の活性化												
(2-50)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	(111,777)	(110,523)	(51,478)	(0)	(0)	(59,045)	(0)
1-126	教委	生涯学 習文化 財課		総	社会教育団体活動費補助	1,490	1,490	0	0	0	1,490	0
④ 社会教育の中核を担う人材の育成												
(1-131)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	社会教育デジタル活用推進事業費	(15,399)	(15,370)	(0)	(11,596)	(0)	(3,774)	(0)
1-127	教委	生涯学 習文化 財課			全国社会教育研究大会岩手大会負担金	1,000	1,000	0	0	0	1,000	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	37,910	B	博物館管理運営費
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	98	A	美術館入館者数	人	61,000	68,040	A	美術館管理運営費
地域クラブ活動移行普及ワークショップの開催回数	回	1	1	A	地域クラブ活動移行普及ワークショップへの参加人数	人	200	132	C	運動部活動地域連携推進事業費
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	86.5	B	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)
子どもの読書活動推進委員会開催回数	回	2	2	A	小学生(5年生)の1か月の平均読書冊数	冊	18.0	14.5	B	
					中学生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	5.0	4.2	B	
					高校生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	3.0	1.8	C	
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,500	5,073	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	13,100	11,864	B	社会教育デジタル活用推進事業費
学習機会の提供と読書普及のための展示や講座等の催事の実施回数	回	280	443	A	図書館入館者数	人	350,000	356,416	A	図書館管理運営費
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	37,910	B	博物館管理運営費
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	98	A	美術館入館者数	人	61,000	68,040	A	美術館管理運営費
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,500	5,073	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	13,100	11,864	B	社会教育デジタル活用推進事業費
学習機会の提供と読書普及のための展示や講座等の催事の実施回数	回	280	443	A	図書館入館者数	人	350,000	356,416	A	図書館管理運営費
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	
社会教育団体への補助件数	件	10	10	A	-	-	-	-	—	社会教育団体活動費補助
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,500	5,073	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	13,100	11,864	B	社会教育デジタル活用推進事業費
運営に関する会議の開催回数	回	3	3	A	全国社会教育研究大会岩手大会参加者数	人	700	876	A	全国社会教育研究大会岩手大会負担金

【Ⅰ 健康・余暇】132事業（再掲28事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実												
1-128	教委	生涯学 習文化 財課		総	博物館管理運営費	339,047	336,263	537	17,601	0	318,125	0
1-129	教委	生涯学 習文化 財課		総	美術館管理運営費	443,177	441,626	598	70,206	0	370,822	0
(1-125)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	図書館管理運営費	(224,815)	(224,762)	(6,830)	(0)	(0)	(217,932)	(0)
1-130	教委	生涯学 習文化 財課		復・総	野外活動センター管理運営費	119,102	117,453	0	17,153	0	100,300	0
1-131	教委	生涯学 習文化 財課		復・総	社会教育デジタル活用推進事業費	15,399	15,370	0	11,596	0	3,774	0
1-132	教委	生涯学 習文化 財課		総	青少年の家管理運営費	308,460	303,728	2,725	1,293	0	299,710	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	37,910	B	博物館管理運営費
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	98	A	美術館入館者数	人	61,000	68,040	A	美術館管理運営費
学習機会の提供と読書普及のための展示や講座等の催事の実施回数	回	280	443	A	図書館入館者数	人	350,000	356,416	A	図書館管理運営費
野外活動センターにおける体験活動の事業実施回数	回	15	19	A	野外活動センターの施設利用人数	人	26,810	26,870	A	野外活動センター管理運営費
デジタル化した貴重資料の新規公開件数	件	10,500	5,073	D	デジタルライブラリーいわて及びバーチャル博物館の閲覧件数	件	13,100	11,864	B	社会教育デジタル活用推進事業費
青少年の家における事業の実施数	回	27	29	A	青少年の家の施設利用人数	人	97,578	93,776	B	青少年の家管理運営費

【Ⅱ 家族・子育て】57事業（再掲43事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	令和7年度				繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります												
③ 子育て家庭への支援												
(2-50)	教委	生涯学習文化財課	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	(111,777)	(110,523)	(51,478)	(0)	(0)	(59,045)	(0)
④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備												
2-28	教委	教育企画室		復・総	いわての学び希望基金奨学金給付事業費	126,457	123,790	0	122,164	0	1,626	0
2-56	教委	教育企画室		総	大学等進学支援一時金給付事業費	6,000	1,200	0	1,200	0	0	0
2-57	教委	学校教育室		総	教科書購入費等給付事業費	2,000	265	0	265	0	0	0
2-30	教委	教育企画室		復・総	被災児童生徒就学援助事業費補助	42,629	34,995	34,995	0	0	0	0
2-31	教委	教育企画室		復・総	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助	49	0	0	0	0	0	0
2-29	教委	教育企画室		復・総	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費	57,312	55,512	0	55,512	0	0	0
2-32	教委	教育企画室		復・総	高校奨学事業費補助	28,838	28,046	0	14,412	0	13,634	0
2-33	教委	教育企画室		総	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)	2,931	2,931	0	0	0	2,931	0
2-34	教委	教育企画室		総	定時制通信教育運営費	69	12	0	0	0	12	0
2-35	教委	教育企画室		総	定時制、通信制修学資金貸付金	84	0	0	0	0	0	0
2-36	教委	学校教育室		復・総	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費	44,190	40,372	0	40,372	0	0	0
2-37	教委	教育企画室		総	公立高等学校等就学支援金支給事業費	2,062,796	2,056,026	2,055,979	47	0	0	0
2-38	教委	教育企画室		総	奨学のための給付金支給事業費	281,297	274,040	91,345	0	0	182,695	0
2-39	教委	教育企画室		総	学び直しへの支援事業費	294	267	267	0	0	0	0
2-40	教委	教育企画室		総	専攻科等修学支援事業費	594	594	297	0	0	297	0
⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進												
2-47	教委	生涯学習文化財課		総	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)	2,764	2,751	0	0	0	2,751	0
(2-50)	教委	生涯学習文化財課	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	(111,777)	(110,523)	(51,478)	(0)	(0)	(59,045)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	
-	-	-	-	-	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金奨学金給付事業費
-	-	-	-	-	大学等進学支援一時金の給付率	%	100	100	A	大学等進学支援一時金給付事業費
-	-	-	-	-	教科書購入費等給付金の給付率	%	100	100	A	教科書購入費等給付事業費
就学援助事業実施市町村に対する補助	回	1	1	A	就学援助事業費の市町村への補助率	%	100	100	A	被災児童生徒就学援助事業費補助
特別支援教育就学奨励事業実施市町村に対する補助	回	1	-	-	特別支援教育就学奨励事業費の補助率	%	100	-	-	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助
-	-	-	-	-	大学等進学支援一時金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	100	A	定時制通信教育運営費
-	-	-	-	-	対象生徒への貸与割合	%	100	-	-	定時制、通信制修学資金貸付金
-	-	-	-	-	教科書購入費等給付金の給付率	%	100	100	A	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	公立高等学校等就学支援金支給事業費
-	-	-	-	-	申請対象者への給付率	%	100	100	A	奨学のための給付金支給事業費
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	学び直しへの支援事業費
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A	専攻科等修学支援事業費
子育て電話相談・メール相談窓口の相談対応日数	日	237	235	B	子育て相談ニーズへの対応件数	件	800	1,010	A	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	

【Ⅱ 家族・子育て】57事業（再掲43事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます												
① 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり												
2-48	教委	生涯学 習文化 財課		総	いわて地域学校連携促進事業費	286	286	0	0	0	286	0
2-49	教委	学校教育 室		総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業 費)	1,953	1,477	0	0	0	1,477	0
2-50	教委	生涯学 習文化 財課		復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	111,777	110,523	51,478	0	0	59,045	0
② 豊かな体験活動の充実												
(2-50)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	(111,777)	(110,523)	(51,478)	(0)	(0)	(59,045)	(0)
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進												
(3-34)	教委	学校教育 室	再	総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進 プラン実践事業費)	(329)	(288)	(0)	(0)	(0)	(288)	(0)
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります												
② 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進												
(2-50)	教委	生涯学 習文化 財課	再	復・総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助	(111,777)	(110,523)	(51,478)	(0)	(0)	(59,045)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	666	A	いわて地域学校連携促進事業費
-	-	-	-	—	コミュニティ・スクール導入校	校	3	3	A	指導運営費（県立学校コミュニティ・スクール推進事業費）
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費（いわて特別支援教育推進プラン実践事業費）
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	特別支援学校の学校公開研究会等の参加人数	人	1,800	2,281	A	
補助市町村数	市町村	28	29	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	98.8	99.6	A	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	841	A	
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	298	A	

【Ⅲ 教育】118事業（再掲54事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	令和7年度				繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
3-1	教委	学校教育室		総	いわて幼児教育センター運営費	11,705	11,348	5,662	23	0	5,663	0
3-2	教委	学校教育室		総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)	2,353	2,351	0	861	0	1,490	0
(3-8)	教委	学校教育室	再	総	確かな学力育成プラン推進費	(15,801)	(15,391)	(0)	(0)	(0)	(15,391)	(0)
3-3	教委	学校教育室		総	公立幼稚園等ICT環境整備事業費補助	0	0	0	0	0	0	0
(3-9)	教委	学校教育室	再	総	確かな学力育成加速化事業費	(5,543)	(5,420)	(0)	(0)	(0)	(5,420)	(0)
3-4	教委	学校教育室		総	遠隔教育による学びの機会充実事業費	2,959	1,778	1,778	0	0	0	0
3-5	教委	教育企画室		総	学校教育DX推進事業費	39,023	38,584	5,200	13,297	0	20,087	0
(3-12)	教委	学校教育室	再	総	高等学校DX加速化推進事業費	(125,378)	(119,696)	(119,685)	(0)	(0)	(11)	(0)
3-6	教委	教育企画室			学校教育DX推進事業費(公立学校情報機器整備事業費)	674,544	674,082	0	654,686	0	19,396	0
3-7	教委	学校教育室			学校教育DX推進事業費(公立学校入出力支援装置整備事業費)	1,678	1,608	0	1,608	0	0	0
② 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実												
(3-2)	教委	学校教育室	再	総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)	(2,353)	(2,351)	(0)	(861)	(0)	(1,490)	(0)
3-8	教委	学校教育室		総	確かな学力育成プラン推進費	15,801	15,391	0	0	0	15,391	0
3-9	教委	学校教育室		総	確かな学力育成加速化事業費	5,543	5,420	0	0	0	5,420	0
③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進												
3-10	教委	学校教育室		総	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)	16,665	15,877	0	0	0	15,877	0
3-11	教委	学校教育室		総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)	11,524	9,873	0	0	0	9,873	0
3-12	教委	学校教育室		総	高等学校DX加速化推進事業費	125,378	119,696	119,685	0	0	11	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の参加人数	人	150	210	A	いわて幼児教育センター運営費
就学前教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	82	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	100	211	A	
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	
-	-	-	-	—	公立幼稚園のICT環境整備園数	園	3	-	—	公立幼稚園等ICT環境整備事業費補助
確かな学力育成調査・研究会議の開催回数	回	3	3	A	各学校への支援内容等の計画に基づき指導助言を行った市町村教委数	市町村	33	33	A	確かな学力育成加速化事業費
イングリッシュワークショップの開催回数	回	2	2	A	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた参加者の割合	%	80	86	A	
遠隔教育にむけて取り組んだ実施対象校数	校	6	6	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	12	12	A	遠隔教育による学びの機会充実事業費
GIGAスクール運営支援センターの業務報告会の開催回数	回	6	6	A	GIGAスクール運営支援センターがB・YOD導入に関連する県立高校からの問合せに対し、訪問指導等により対応した割合	%	-	-	—	学校教育DX推進事業費
-	-	-	-	—	計画された学校訪問研修に対応した割合	%	100	100	A	
ICT機器を整備した学校数	校	24	20	B	-	-	-	-	—	高等学校DX加速化推進事業費
更新対象自治体への補助率	%	100	100	A	事業計画通り端末の更新が行われた自治体の割合	%	100	100	A	学校教育DX推進事業費(公立学校情報機器整備事業費)
入出力支援装置を整備した県立学校数	校	6	4	C	事業計画通り端末の更新が行われた自治体の割合	%	100	-	—	学校教育DX推進事業費(公立学校入出力支援装置整備事業費)
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	
確かな学力育成調査・研究会議の開催回数	回	3	3	A	各学校への支援内容等の計画に基づき指導助言を行った市町村教委数	市町村	33	33	A	確かな学力育成加速化事業費
イングリッシュワークショップの開催回数	回	2	2	A	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた参加者の割合	%	80	86	A	
合同事業の講座数	講座	10	10	A	受講生の講座満足度	%	97	97	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを利活用した生徒の割合	%	100	100	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)
ICT機器を整備した学校数	校	24	20	B	-	-	-	-	—	高等学校DX加速化推進事業費

【Ⅲ 教育】118事業（再掲54事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
3-13	教委	学校教育 室		総	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)	7,374	7,343	7,343	0	0	0	0
3-14	教委	学校教育 室		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費	16,733	15,100	0	15,100	0	0	0
3-15	教委	学校教育 室		総	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)	2,882	2,879	0	2,879	0	0	0
(3-54)	教委	学校教育 室	再	総	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)	(24,409)	(9,526)	(4,763)	(0)	(0)	(4,763)	(12,871)
(2-33)	教委	教育企 画室	再	総	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)	(2,931)	(2,931)	(0)	(0)	(0)	(2,931)	(0)
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます												
① 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成												
3-16	教委	学校教育 室		総	指導運営費(人権教育研究推進事業費)	301	301	301	0	0	0	0
3-17	教委	学校教育 室		総	指導運営費(道徳教育推進事業費)	1,732	1,301	1,301	0	0	0	0
② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成												
(1-124)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)	(232)	(197)	(0)	(0)	(0)	(197)	(0)
3-18	教委	教職員 課		総	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)	195	195	0	0	0	195	0
③ 学校における文化芸術教育の推進												
3-20	教委	学校教育 室		復・総	高等学校文化活動支援事業費	9,000	9,000	0	0	0	9,000	0
3-21	教委	学校教育 室		総	岩手県中学校文化連盟補助	1,400	1,400	0	0	0	1,400	0
3-22	教委	学校教育 室		復・総	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助	3,441	1,728	0	1,728	0	0	0
(3-28)	教委	保健体 育課	再	総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)	(56,185)	(51,347)	(15,124)	(0)	(0)	(36,223)	(0)
④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成												
(3-17)	教委	学校教育 室	再	総	指導運営費(道徳教育推進事業費)	(1,732)	(1,301)	(1,301)	(0)	(0)	(0)	(0)
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます												
① 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実												
3-23	教委	保健体 育課		総	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)	4,071	2,244	2,244	0	0	0	0
3-24	教委	保健体 育課		総	60プラスプロジェクト推進事業費	2,097	1,913	0	0	0	1,913	0
3-25	教委	保健体 育課		総	指導運営費(がん教育総合支援事業費)	544	473	0	473	0	0	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
指導力向上研修回数	回	2	2	A	指導力向上研修を受講した教員数	人	60	63	A	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費
就職等支援事業実施高校数	校	13	13	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
非常勤事務職員配置人数	人	2	2	A	非常勤事務職員配置により、SSH事業を効果的に実施した高等学校数	校	2	2	A	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	60	60	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	95.1	100	A	
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A	高校奨学事業費補助(大学等進学支援)
人権教育研究指定校数	校	1	1	A	人権教育リーフレット配布数	部	1,200	1,200	A	指導運営費(人権教育研究推進事業費)
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	136	A	指導運営費(道徳教育推進事業費)
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	86.5	B	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)
子どもの読書活動推進委員会開催回数	回	2	2	A	小学生(5年生)の1か月の平均読書冊数	冊	18.0	14.5	B	
					中学生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	5.0	4.2	B	
					高校生(2年生)の1か月の平均読書冊数	冊	3.0	1.8	C	
司書教諭講習の受講者数	人	3	3	A	司書教諭資格の取得割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)
セミナーサポート事業回数	回	25	25	A	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	2	A	高等学校文化活動支援事業費
					全国高総文祭個人入賞者数	人	2	2	A	
県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A	岩手県中学校文化連盟補助
					全国中文祭派遣個人数	人	25	51	A	
文化活動支援補助団体数	団体	3	3	A	中文祭参加補助者数	人	32	17	D	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助
					高文祭参加補助者数	人	99	84	B	
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	-	-	-	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	93	B	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)
希望する県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置の割合	%	100	100	A						
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	136	A	指導運営費(道徳教育推進事業費)
派遣要請校数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	教員にとって指導の参考となる内容であったと回答した学校の割合	%	100	100	A	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)
運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の回数	回	1	1	A	運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の校数	校	14	18	A	60プラスプロジェクト推進事業費
チャレンジカードの配布校数	校	302	272	B	チャレンジカードを活用している学校の割合	%	100	82	B	
岩手県学校保健研修会の開催日数	日	1	1	A	「がん教育指導者向けマニュアル」を授業等に活用している学校の割合	%	100	100	A	指導運営費(がん教育総合支援事業費)

【Ⅲ 教育】118事業（再掲54事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
3-26	教委	保健体育課		総	夜間定時制高等学校給食費	15	0	0	0	0	0	0
3-27	教委	保健体育課		復・総	児童生徒放射線対策支援事業費	353	331	0	0	0	331	0
② 適切な部活動体制の推進												
3-28	教委	保健体育課		総	教職員人事管理費（部活動指導員配置事業費）	56,185	51,347	15,124	0	0	36,223	0
3-29	教委	保健体育課		復・総	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費（いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助）	19,618	14,649	0	14,649	0	0	0
3-30	教委	保健体育課		総	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助	57,644	56,573	0	0	0	56,573	0
3-31	教委	保健体育課		総	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助	34,713	33,765	0	0	0	33,765	0
(1-117)	教委	保健体育課	再	総	運動部活動地域連携推進事業費	(1,034)	(796)	(0)	(796)	(0)	(0)	(0)
(3-65)	教委	教職員課	再		教職員人事管理費（再発防止岩手モデル推進事業費）	(2,832)	(675)	(0)	(0)	(0)	(675)	(0)
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます												
① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実												
(3-61)	教委	教職員課	再		教職員費（障がい者雇用校務補助員配置事業費）	(128,311)	(126,518)	(0)	(602)	(0)	(125,916)	(0)
(3-62)	教委	教職員課	再		管理運営費（障がい者雇用校務補助員配置事業費）	(13,899)	(13,653)	(0)	(64)	(0)	(13,589)	(0)
3-32	教委	学校教育室		総	特別支援教育推進事業費（特別支援学校キャリア教育推進事業費）	13,356	13,169	0	12,651	0	518	0
② 各校種における指導・支援の充実												
3-33	教委	学校教育室		総	特別支援教育推進事業費（特別支援教育かがやきプラン推進事業費）	53,501	53,018	0	113	0	52,905	0
③ 教育環境の充実・県民理解の促進												
3-34	教委	学校教育室		総	特別支援教育推進事業費（いわて特別支援教育推進プラン実践事業費）	329	288	0	0	0	288	0
3-35	教委	学校教育室		総	特別支援教育推進事業費（県立学校医療的ケア体制整備事業費）	105,749	101,992	33,885	325	0	67,782	0
3-36	教委	教育企画室			施設整備費（特別支援学校整備事業費）	2,026,004	2,009,861	609,828	174,328	977,000	248,705	0
(3-7)	教委	学校教育室	再		学校教育DX推進事業費（公立学校入出力支援装置整備事業費）	(1,678)	(1,608)	(0)	(1,608)	(0)	(0)	(0)
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります												
① いじめ防止対策の推進といじめ事業への適切な対処												
(3-2)	教委	学校教育室	再	総	教職員研修費（中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費）	(2,353)	(2,351)	(0)	(861)	(0)	(1,490)	(0)
3-37	教委	学校教育室		総	いじめ不登校対策事業費（いじめ不登校対策事業費）	7,454	6,340	781	22	0	5,537	0
② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進												
3-38	教委	学校教育室		復・総	児童生徒健全育成推進費（スクールソーシャルワーカー配置事業費）	34,105	33,751	25,436	0	0	8,315	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
-	-	-	-	—	対象生徒への給与割合	%	100	-	—	夜間定時制高等学校給食費
放射能モニタリング実施校地数	校地	83	83	A	測定の結果、基準値を超えない割合	%	100	100	A	児童生徒放射線対策支援事業費
県立学校（県立中学校を含む）への部活動指導員配置校数	校	-	-	—	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	93	B	教職員人事管理費（部活動指導員配置事業費）
希望する県立学校（県立中学校を含む）への部活動指導員配置の割合	%	100	100	A						
大会出場補助申請者数に対する補助者数の割合	%	100	100	A	-	-	-	-	—	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費（いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助）
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	33	33	A	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	19	17	B	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助
地域クラブ活動移行普及ワークショップの開催回数	回	1	1	A	地域クラブ活動移行普及ワークショップへの参加人数	人	200	132	C	運動部活動地域連携推進事業費
再発防止に向けた取組回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費（再発防止岩手モデル推進事業費）
校務補助員の配置人数	人	38	36	B	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.01	C	教職員費（障がい者雇用校務補助員配置事業費）
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.01	C	管理運営費（障がい者雇用校務補助員配置事業費）
企業との連携協議会対象校数	校	5	5	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費（特別支援学校キャリア教育推進事業費）
職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置校数	校	5	4	B	企業での現場実習の実施回数	回	10	10	A	
支援員配置人数	人	33	33	A	支援員の配置により成果のあった学校の割合	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費（特別支援教育かがやきプラン推進事業費）
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費（いわて特別支援教育推進プラン実践事業費）
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	特別支援学校の学校公開研究会等の参加人数	人	1,800	2,281	A	
看護師等研修会の開催	回	1	1	A	看護師等研修会への参加率	%	100	100	A	特別支援教育推進事業費（県立学校医療的ケア体制整備事業費）
看護師の配置率	%	100	100	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A	
県立学校（特別支援学校）の校舎整備実施施設数	施設	1	1	A	県立学校（特別支援学校）の校舎整備完了施設数	施設	1	1	A	施設整備費（特別支援学校整備事業費）
入出力支援装置を整備した県立学校数	校	6	4	C	事業計画通り端末の更新が行われた自治体の割合	-	100	-	—	学校教育DX推進事業費（公立学校入出力支援装置整備事業費）
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員研修費（中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費）
いじめ問題に関する研修会開催回数	回	15	17	A	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A	いじめ不登校対策事業費（いじめ不登校対策事業費）
県いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回	2	2	A	「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」に相談のあった、いじめ事案及び不登校支援への対応率	%	100	100	A	
スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	16	15	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費（スクールソーシャルワーカー配置事業費）

【Ⅲ 教育】118事業（再掲54事業を除く）

						令和7年度						
番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
3-39	教委	学校教育 室		復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配 置事業費)	303,812	298,387	169,819	485	0	128,083	0
3-40	教委	学校教育 室		総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル 事業費)	3,655	3,601	1,200	0	0	2,401	0
(3-4)	教委	学校教育 室	再	総	遠隔教育による学びの機会充実事業費	(2,959)	(1,778)	(1,778)	(0)	(0)	(0)	(0)
(3-55)	教委	学校教育 室	再	総	いじめ不登校対策事業費(校内教育支援センター等体 制整備事業費)	(6,568)	(6,374)	(2,000)	(0)	(0)	(4,374)	(0)
③ デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進												
(3-2)	教委	学校教育 室	再	総	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージ アップ研修費)	(2,353)	(2,351)	(0)	(861)	(0)	(1,490)	(0)
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます												
① 安全でより良い教育環境の整備												
3-41	教委	保健体 育課		総	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事 業費)	5,749	3,597	1,765	0	0	1,832	0
3-42	教委	学校教育 室		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)	4,430	3,878	3,878	0	0	0	0
3-43	教委	教育企 画室(施 設)			校舎建設事業費(屋内運動場整備事業)	94,523	0	0	0	0	0	94,523
3-44	教委	教育企 画室			校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)	1,915,849	1,893,918	1,835	59,562	1,640,000	192,521	0
3-45	教委	教育企 画室			理科教育設備整備費	9,024	9,023	4,511	0	0	4,512	0
3-46	教委	教育企 画室			産業教育設備整備費	19,511	18,262	0	0	0	18,262	0
3-47	教委	教育企 画室			部活動設備整備費	7,436	7,436	0	0	0	7,436	0
3-48	教委	教育企 画室			情報処理教育設備整備費	185,914	185,913	0	0	0	185,913	0
3-49	教委	教育企 画室			校舎建設事業費(校舎改築事業)	660,521	32,012	0	0	29,000	3,012	624,844
3-50	教委	教育企 画室			校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)	2,250	2,239	0	0	2,000	239	0
3-51	教委	学校教育 室		総	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備 計画策定等事業費)	64,836	63,450	0	118	0	63,332	0
3-52	教委	教育企 画室			災害時学校支援チーム構築事業費	954	929	929	0	0	0	0
② 魅力ある学校づくりの推進												
(2-48)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	いわて地域学校連携促進事業費	(286)	(286)	(0)	(0)	(0)	(286)	(0)
(2-49)	教委	学校教育 室	再	総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業 費)	(1,953)	(1,477)	(0)	(0)	(0)	(1,477)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
小学校のスクールカウンセラー配置、対応校数	校	138	137	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業費)
中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	143	142	B						
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)
携帯カードの作成枚数	枚	122,400	122,480	A						
遠隔教育にむけて取り組んだ実施対象校数	校	6	6	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	12	12	A	遠隔教育による学びの機会充実事業費
県の教育支援センターの分室の設置	箇所	1	1	A	県の教育支援センターに相談や通所希望があった場合の対応率	%	100	100	A	いじめ不登校対策事業費(校内教育支援センター等体制整備事業費)
実施する研修の回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員研修費(中堅教諭等資質向上研修・ステージアップ研修費)
スクールガード・リーダー養成講習会の開催	回	1	1	A	講習会参加者数	人	33	34	A	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費)
学校防災アドバイザー派遣校数(復興教育スクール、防災教育スクール合算)	校	35	55	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	29	D	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	79	B	
県立学校の屋内運動場整備実施施設数	施設	1	—	—	県立学校の屋内運動場整備完了施設数	施設	1	—	—	校舎建設事業費(屋内運動場整備事業)
県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の長寿命化改良・大規模改造完了施設数	施設	1	1	A	校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)
—	—	—	—	—	理科教育設備整備学校数	校	8	8	A	理科教育設備整備費
—	—	—	—	—	産業教育設備整備学校数	校	4	5	A	産業教育設備整備費
—	—	—	—	—	部活動設備整備学校数	校	16	15	B	部活動設備整備費
—	—	—	—	—	情報処理教育設備整備学校数	校	15	15	A	情報処理教育設備整備費
県立学校の校舎改築実施施設数	施設	2	2	A	県立学校の校舎改築完了施設数	施設	—	—	—	校舎建設事業費(校舎改築事業)
県立学校の屋内運動場大規模改造実施施設数	施設	2	1	D	県立学校の屋内運動場大規模化改造完了施設数	施設	1	—	—	校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)
高校の魅力向上に向けた意見交換会の回数	回	12	24	A	高校の魅力向上に向け意見交換を行う地域	地区	12	24	A	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業費)
					高校の魅力向上に向けた意見交換会参加者数	人	120	983	A	
養成研修の実施回数	回	2	2	A	チーム登録員数	人	50	68	A	災害時学校支援チーム構築事業費
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	666	A	いわて地域学校連携促進事業費
—	—	—	—	—	コミュニティ・スクール導入校	校	3	3	A	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)

【Ⅲ 教育】118事業（再掲54事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
3-53	教委	学校教育 室		総	いわて高校魅力化推進事業費(協働体制推進事業費)	12,247	5,663	2,831	0	0	2,832	6,584
3-54	教委	学校教育 室		総	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)	24,409	9,526	4,763	0	0	4,763	12,871
③ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保												
(3-40)	教委	学校教育 室	再	総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル 事業費)	(3,655)	(3,601)	(1,200)	(0)	(0)	(2,401)	(0)
(3-4)	教委	学校教育 室	再	総	遠隔教育による学びの機会充実事業費	(2,959)	(1,778)	(1,778)	(0)	(0)	(0)	(0)
3-55	教委	学校教育 室		総	いじめ不登校対策事業費(校内教育支援センター等体 制整備事業費)	6,568	6,374	2,000	0	0	4,374	0
3-56	教委	学校教育 室		総	指導運営費(外国人児童生徒教育支援事業費)	183	117	0	0	0	117	0
④ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上												
3-57	教委	教職員 課			すこやかサポート推進事業費	81,813	81,032	15,085	383	0	65,564	0
3-58	教委	教職員 課			教職員人事管理費(教職員の健康確保等推進事業費)	293	245	0	0	0	245	0
3-59	教委	教職員 課			教職員費(学校生活サポート推進事業費)	65,447	65,178	15,081	310	0	49,787	0
3-60	教委	教職員 課			教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業 費)	56,184	55,924	13,155	0	0	42,769	0
3-61	教委	教職員 課			教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)	128,311	126,518	0	602	0	125,916	0
3-62	教委	教職員 課			管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)	13,899	13,653	0	64	0	13,589	0
3-63	教委	教職員 課		復	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)	4,160	4,157	4,138	19	0	0	0
3-64	教委	教職員 課			教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費 補助)	72	0	0	0	0	0	0
3-65	教委	教職員 課			教職員人事管理費(再発防止岩手モデル推進事業費)	2,832	675	0	0	0	675	0
3-66	教委	教職員 課			教職員人事管理費(スクールロイヤー相談体制整備事 業費)	1,118	99	0	0	0	99	0
18 地域に貢献する人材を育てます												
① 「いわての復興教育」などの推進												
(3-42)	教委	学校教育 室	再	復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)	(4,430)	(3,878)	(3,878)	(0)	(0)	(0)	(0)
3-78	教委	学校教育 室		復・総	いわての復興教育推進事業費	31,644	28,796	0	28,796	0	0	0
(3-54)	教委	学校教育 室	再	総	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)	(24,409)	(9,526)	(4,763)	(0)	(0)	(4,763)	(12,871)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
「探究共創」交流会の開催回数	回	1	1	A	高校魅力化の取組を情報発信した高校数	校	60	60	A	いわて高校魅力化推進事業費(協働体制推進事業費)
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	60	60	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	95.1	100	A	
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)
携帯カードの作成枚数	枚	122,480	122,480	A						
遠隔教育にむけて取り組んだ実施対象校数	校	6	6	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	12	12	A	遠隔教育による学びの機会充実事業費
県の教育支援センターの分室の設置	箇所	1	1	A	県の教育支援センターに相談や通所希望があった場合の対応率	%	100	100	A	いじめ不登校対策事業費(校内教育支援センター等体制整備事業費)
連携会議の開催回数	回	1	1	A	モデル研究指定校の指定数	校	1	1	A	指導運営費(外国人児童生徒教育支援事業費)
小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	89	B	すこやかサポート推進事業費
市町村立小・中・義務教育学校安全衛生管理研修会の開催回数	回	4	4	A	市町村教委の労働安全衛生体制の整備数(学校の多忙化解消を話し合う場(包括的な衛生委員会等)の設置)	市町村	33	31	B	教職員人事管理費(教職員の健康確保等推進事業費)
生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	91	A	教職員費(学校生活サポート推進事業費)
スクールサポートスタッフの配置人数	人	47	47	A	業務支援体制を整備し負担軽減の効果があった学校の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費)
校務補助員の配置人数	人	38	36	B	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.01	C	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.7	2.01	C	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)
保健師等による巡回相談(沿岸南部教育事務所管内小中学校)対応校数	校	44	44	A	相談希望への対応率	%	100	100	A	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)
事業の推進に向けた周知(HPによる紹介)回数	回	1	1	A	幼稚園教諭免許状取得率	%	100	—	—	教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費補助)
再発防止に向けた取組回数	回	13	13	A	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A	教職員人事管理費(再発防止若手モデル推進事業費)
スクールロイヤー設置数	人	2	2	A	教育法務相談件数	件	12	10	B	教職員人事管理費(スクールロイヤー相談体制整備事業費)
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	55	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	29	D	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	79	B	
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	いわての復興教育推進事業費
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	60	60	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	95.1	100	A	

【Ⅲ 教育】118事業（再掲54事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
(3-14)	教委	学校教育 室	再	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費	(16,733)	(15,100)	(0)	(15,100)	(0)	(0)	(0)
② キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成												
3-79	教委	学校教育 室		総	キャリアアップサポート推進事業費補助	1,000	1,000	0	0	0	1,000	0
(3-54)	教委	学校教育 室	再	総	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)	(24,409)	(9,526)	(4,763)	(0)	(0)	(4,763)	(12,871)
(3-14)	教委	学校教育 室	再	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費	(16,733)	(15,100)	(0)	(15,100)	(0)	(0)	(0)
③ ものづくり産業人材の育成・確保・定着												
(3-14)	教委	学校教育 室	再	復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費	(16,733)	(15,100)	(0)	(15,100)	(0)	(0)	(0)
3-87	教委	学校教育 室		総	指導運営費(理数系人材育成事業費)	315	314	0	236	0	78	0
⑥ デジタル人材の育成												
(3-11)	教委	学校教育 室	再	総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)	(11,524)	(9,873)	(0)	(0)	(0)	(9,873)	(0)
(3-12)	教委	学校教育 室	再	総	高等学校DX加速化推進事業費	(125,378)	(119,696)	(119,685)	(0)	(0)	(11)	(0)
⑦ 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成												
(3-87)	教委	学校教育 室	再	総	指導運営費(理数系人材育成事業費)	(315)	(314)	(0)	(236)	(0)	(78)	(0)
(3-11)	教委	学校教育 室	再	総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)	(11,524)	(9,873)	(0)	(0)	(0)	(9,873)	(0)
(3-12)	教委	学校教育 室	再	総	高等学校DX加速化推進事業費	(125,378)	(119,696)	(119,685)	(0)	(0)	(11)	(0)
⑧ 岩手と世界をつなぐ人材の育成												
3-96	教委	学校教育 室		総	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)	90,919	90,327	0	395	0	89,932	0
3-97	教委	学校教育 室		総	外国語教育推進事業費	114,103	114,102	0	0	0	114,102	0
(3-8)	教委	学校教育 室	再	総	確かな学力育成プラン推進費	(15,801)	(15,391)	(0)	(0)	(0)	(15,391)	(0)
(3-9)	教委	学校教育 室	再	総	確かな学力育成加速化事業費	(5,543)	(5,420)	(0)	(0)	(0)	(5,420)	(0)
3-98	教委	学校教育 室		総	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)	600	600	600	0	0	0	0
3-99	教委	学校教育 室		総	雲南省教育交流推進事業費	3,321	3,284	0	0	0	3,284	0
3-100	教委	教育企 画室		復・総	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費	1,480	1,480	0	480	0	1,000	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費
就職等支援事業実施高校数	校	13	13	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の事業を活用して、キャリア教育を行った学校数	校	15	17	A	キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	キャリアアップサポート推進事業費補助
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	60	60	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	100	A	いわて高校魅力化推進事業費(探究共創事業費)
					協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	95.1	100	A	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費
就職等支援事業実施高校数	校	13	13	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	県立学校復興担い手育成支援事業費
就職等支援事業実施高校数	校	13	13	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A	
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中学校数	校	12	11	B	指導運営費(理数系人材育成事業費)
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを活用した生徒の割合	%	100	100	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)
ICT機器を整備した学校数	校	24	20	B	-	-	-	-	-	高等学校DX加速化推進事業費
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中学校数	校	12	11	B	指導運営費(理数系人材育成事業費)
探究的な学習を実施した高校数	校	9	9	A	課題解決のためにデータを活用した生徒の割合	%	100	100	A	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究・STEAM教育推進事業費)
ICT機器を整備した学校数	校	24	20	B	-	-	-	-	-	高等学校DX加速化推進事業費
外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	17	17	A	ALTを活用した県立学校数	校	17	19	A	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)
外国語指導助手(NS)の派遣人数	人	23	23	A	NSを週1回以上活用した県立学校数	校	62	60	B	外国語教育推進事業費
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A	確かな学力育成プラン推進費
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A	
確かな学力育成調査・研究会議の開催回数	回	3	3	A	各学校への支援内容等の計画に基づき指導助言を行った市町村教委数	市町村	33	33	A	確かな学力育成加速化事業費
イングリッシュワークショップの開催回数	回	2	2	A	イングリッシュワークショップ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた参加者の割合	%	80	86	A	
留学支援実施回数	回	1	1	A	高校生派遣人数	人	10	10	A	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)
派遣実施回数	回	1	1	A	中国雲南省への教員等派遣人数	人	3	3	A	雲南省教育交流推進事業費
被災生徒への参加費負担割合	%	100	100	A	-	-	-	-	-	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費

【Ⅳ 居住環境・コミュニティ】57事業（再掲26事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります												
① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進												
(1-128)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	博物館管理運営費	(339,047)	(336,263)	(537)	(17,601)	(0)	(318,125)	(0)
(1-129)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	美術館管理運営費	(443,177)	(441,626)	(598)	(70,206)	(0)	(370,822)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	5	A	博物館入館者数	人	40,000	37,910	B	博物館管理運営費
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	98	A	美術館入館者数	人	61,000	68,040	A	美術館管理運営費

【V 安全】44事業（再掲9事業を除く）

番号 部局名 室課名 区分 計画 関連 事業名						令和7年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
27 自助、共助、公助による防災体制をつくります												
① 自然災害に備えた総合的な災害対応力の向上												
(3-52)	教委	教育企画室	再		災害時学校支援チーム構築事業費	(954)	(929)	(929)	(0)	(0)	(0)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
養成研修の実施回数	回	2	2	A	チーム登録員数	人	50	68	A	災害時学校支援チーム構築事業費

【Ⅶ 歴史・文化】14事業（再掲8事業を除く）

						令和7年度						
番号	部局名	室課名	再掲	計画 関連	事業名	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
40 世界遺産の保存と活用を進めます												
① 世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進												
7-3	教委	生涯学 習文化 財課		総	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)	3,300	3,300	0	0	0	3,300	0
7-4	教委	生涯学 習文化 財課		総	柳之御所遺跡整備調査事業費	50,847	50,556	14,974	32	0	35,550	0
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝												
② 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進												
7-10	教委	生涯学 習文化 財課		復・総	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費補助)	402,933	399,977	199,988	0	0	199,989	0
7-11	教委	生涯学 習文化 財課		総	文化財保護推進費(文化財保護事業費)	102,936	102,667	0	0	0	102,667	0
7-12	教委	生涯学 習文化 財課		総	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)	18,269	18,227	9,113	0	0	9,114	0
7-13	教委	生涯学 習文化 財課		総	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)	8,364	8,239	0	0	0	8,239	0
(7-4)	教委	生涯学 習文化 財課	再	総	柳之御所遺跡整備調査事業費	(50,847)	(50,556)	(14,974)	(32)	(0)	(35,550)	(0)
7-14	教委	生涯学 習文化 財課		総	カモンカ特別対策費	1,960	1,906	971	0	0	935	0

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
平泉学フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉学フォーラムの参加者数	人	420	340	B	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)
研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-	
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A	-	-	-	-	-	柳之御所遺跡整備調査事業費
被災資料の安定化処理及び修復を行う市町村への補助数	件	1	1	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	14	14	A	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費補助)
文化財修理等への補助件数	件	23	21	B	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(文化財保護事業費)
農家負担分経費の負担(調査)件数	件	9	6	C	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)
市町村発掘調査の助成件数	件	17	16	B	-	-	-	-	-	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A	-	-	-	-	-	柳之御所遺跡整備調査事業費
市町村への食害対策費補助	件	1	1	A	-	-	-	-	-	カモシカ特別対策費

【IX 社会基盤】33事業（再掲54事業を除く）

番号	部局名	室課名	区分	計画 関連	事業名	令和7年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
46 安全・安心を支える社会資本を型												
② 公共建築物等の耐震化による安												
(3-44)	教委	教育企 画室	再		校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)	(1,915,849)	(1,893,918)	(1,835)	(59,562)	(1,640,000)	(192,521)	(0)

活動内容指標					成果指標					事業名
指標名	単位	令和7年度			指標名	単位	令和7年度			
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	1	1	A	県立学校の長寿命化改良・大規模改造完了施設数	施設	1	1	A	校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)